

現況及び都市数量分析

現況及び都市数量分析

1. 調査の概要.....	2
2. 人口.....	2
3. 産業.....	30
4. 衛生.....	46
5. 安全.....	46
6. 建築・土地・上下水道.....	48
7. 財政.....	54

平成 27 年 12 月

I. 現況及び都市数量分析

1. 調査の概要

(1) 現況分析及び都市数量分析方法

- ・ 稲敷市の 10 年変化（平成 17 年と平成 27 年を基本に比較）
- ・ RESAS（地域経済分析システム）による都市間比較

(2) 都市数量分析（都市間比較）の対象都市

- ・ 稲敷市に接するあるいは隣接する以下 12 都市を対象としました。

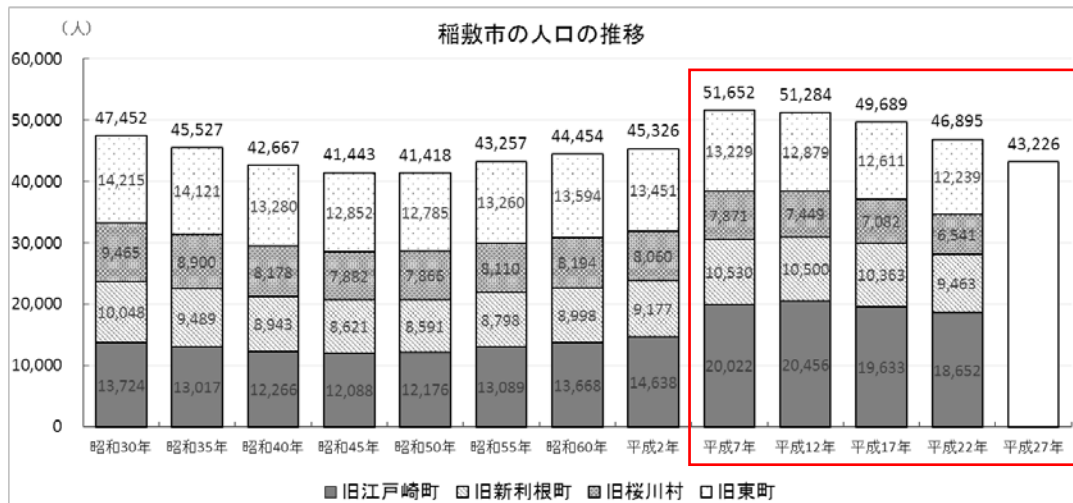
茨城県 阿見町、牛久市、行方市、潮来市、美浦村、龍ヶ崎市、利根町、河内町（8 都市）
千葉県 栄町、成田市、神崎町、香取市（4 都市）

2. 人口

1) 人口の動向

・ 稲敷市の人口の推移

○昭和 30 年から昭和 50 年まで減少していたものの、その後は緩やかに増加し、平成 7 年をピークに減少に転じています。平成 7 年からの 20 年で約 8,400 人が、平成 17 年からの 10 年間で約 6,500 人が減少しています。



※平成 26 年度統計なし（各年 10 月 1 日現在）
※平成 27 年は茨城県常住人口調査（8 月 1 日現在）

・周辺市町村との人口比較【都市間比較】

○周辺市町村の人口（平成12年から22年までの10年間の人口増減率）をみると、牛久市や阿見町、龍ヶ崎市の3市町のみが増加しており、一方、稲敷市では96.6%と3.4%減少しています。

集計年	市区町村	稲敷市	阿見町	牛久市	美浦村	龍ヶ崎市	利根町	河内町	行方市	潮来市	栄町	成田市	神崎町	香取市
昭和55年	1980年	43,257	33,718	40,162	13,509	43,132	14,378	11,516	42,660	29,075	9,553	85,849	5,645	92,048
昭和60年	1985年	44,454	37,667	51,918	14,162	48,857	19,762	11,284	43,074	30,420	14,205	95,023	5,639	93,558
平成2年	1990年	45,318	42,190	60,620	14,348	57,213	20,511	11,201	42,958	30,624	22,484	105,170	5,620	93,269
平成7年	1995年	51,650	45,650	66,328	17,767	69,147	20,188	11,720	42,390	32,133	25,615	112,642	6,156	93,543
平成12年	2000年	51,276	46,918	73,256	18,219	76,846	19,030	11,502	41,453	31,944	25,475	116,799	6,740	90,939
平成17年	2005年	48,487	47,439	75,997	17,931	77,710	17,964	10,905	39,250	31,288	24,182	119,268	6,649	86,399
平成22年	2010年	46,846	47,732	81,679	17,278	79,790	17,472	10,172	37,582	30,486	22,580	127,912	6,454	82,766
増減率H12→H17		91.4	101.7	111.5	94.8	103.8	91.8	88.4	90.7	95.4	88.6	109.5	95.8	91.0
増減率H12→H22		96.6	100.6	107.5	96.4	102.7	97.3	93.3	95.8	97.4	93.4	107.2	97.1	95.8
平成27年	2015年	43,967	47,447	84,065	16,507	80,403	16,823	9,404	35,106	29,312	21,105	133,416	6,189	78,002
平成32年	2020年	41,148	46,588	84,848	15,743	79,558	16,049	8,684	32,737	28,044	19,809	135,673	5,871	73,174
平成37年	2025年	38,241	45,356	84,709	14,874	77,939	15,090	7,958	30,404	26,615	18,418	136,979	5,520	68,094
平成42年	2030年	35,295	43,795	83,743	13,957	75,684	13,969	7,244	28,161	25,084	16,905	137,408	5,154	62,917
平成47年	2035年	32,326	41,965	82,114	13,006	72,845	12,708	6,560	25,976	23,486	15,268	136,898	4,783	57,716
平成52年	2040年	29,298	39,946	80,127	12,036	69,589	11,455	5,882	23,748	21,843	13,524	135,413	4,409	52,415

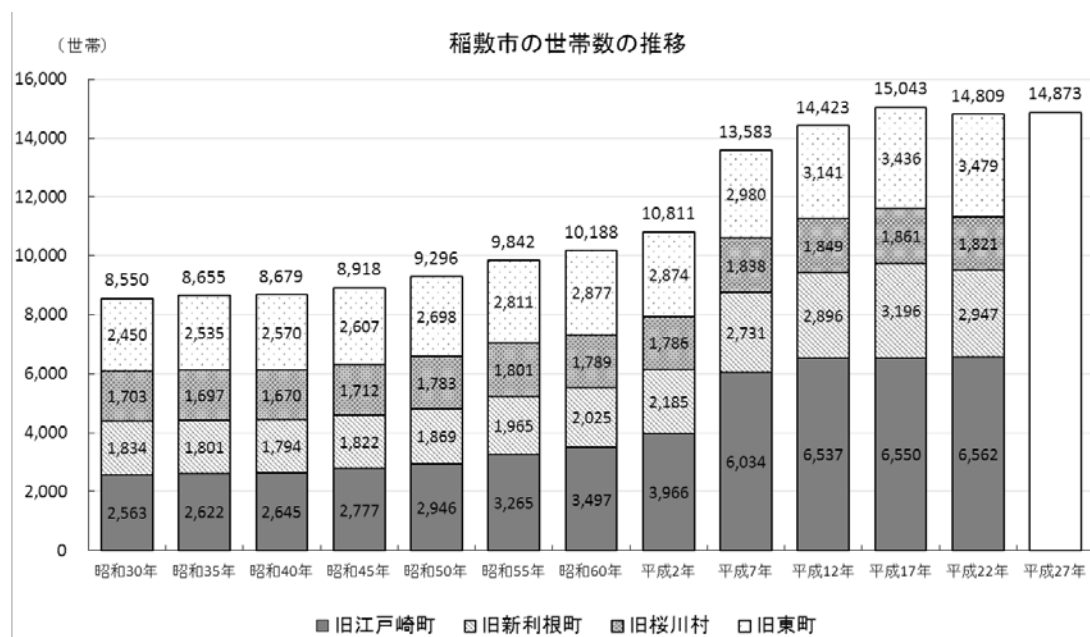
※地域経済分析システム（RESAS）

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総人口については、年齢不詳は除いています。

・稲敷市の世帯数の推移

○世帯数は、昭和30年から平成17年まで増加を続けています。特に平成2年以降の増加が顕著となっていますが、平成17年以降横ばいの状況が続いています。核家族化が進んでいることが伺えます。旧町村別にみると旧桜川村を除いた旧3町で増加傾向となっています。

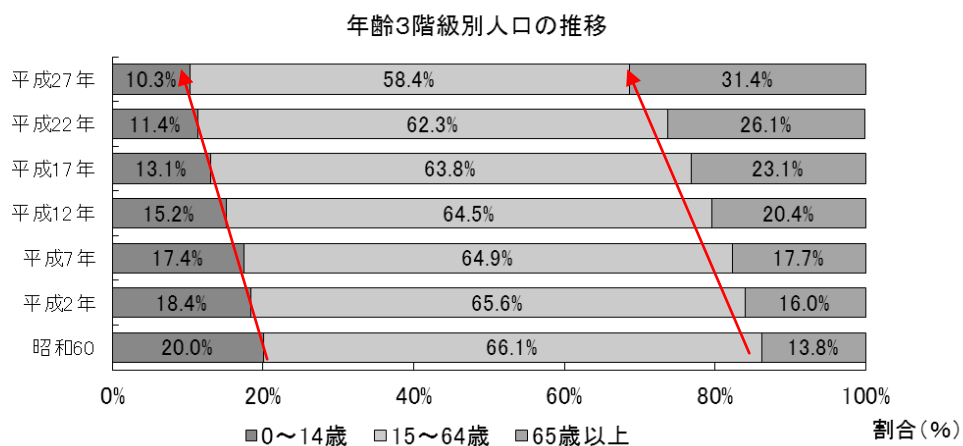


※平成26年度統計いなしき（各年10月1日現在）

※平成27年は茨城県常住人口調査（8月1日現在）

・年齢3階級別人口の推移

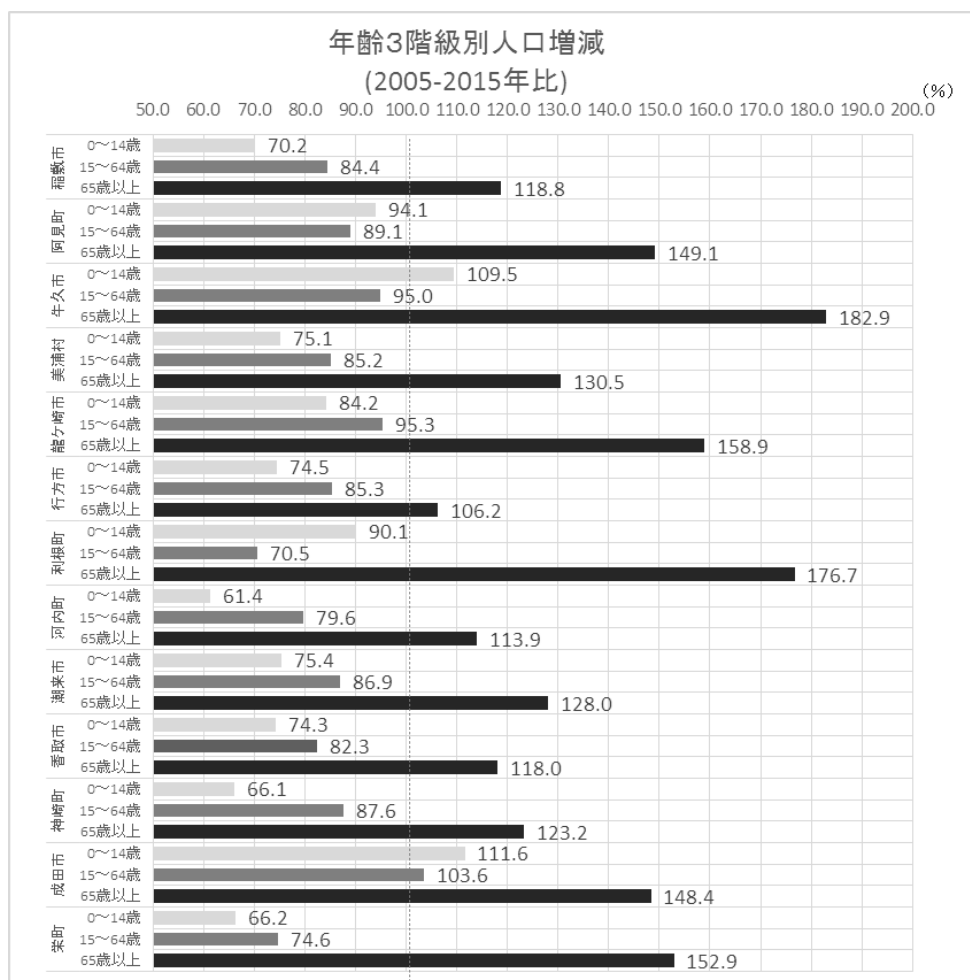
○昭和60年からの25年間で、年少人口（15歳未満）は半減、老年人口（65歳以上）は倍増しています。生産年齢人口についても減少傾向にあります。



※平成22年度までは、平成26年度統計いなしき(資料：国勢調査 各年10月1日現在)
 ※平成27年度は茨城県常住人口調査(四半期報)(7月1日現在)

・周辺市町村との年齢3階級別人口比較【都市間比較】

○周辺市町村の年齢3階級別人口（2005年から2015年の10年間）の増減率をみると、幼年人口は、成田市と牛久市のみが増加しており、稲敷市は減少率が4番目に高くなっています。生産年齢人口では、成田市のみが増加しており、稲敷市では減少率が5番目に高くなっています。



稲敷市

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	7770	0.15	33060	0.64	10446	0.2
2005	6371	0.13	30637	0.63	11479	0.23
2010	5352	0.11	29234	0.62	12260	0.26
2015	4473	0.1	25860	0.58	13634	0.31
増減 (2005-2015年比)	70.2		84.4		118.8	
2040	2234	0.07	14301	0.48	12763	0.43

河内町

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	1734	0.15	7278	0.63	2490	0.21
2005	1361	0.12	6715	0.61	2829	0.25
2010	1069	0.1	6122	0.6	2981	0.29
2015	835	0.08	5347	0.56	3222	0.34
増減 (2005-2015年比)	61.4		79.6		113.9	
2040	397	0.06	2724	0.46	2761	0.46

阿見町

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	6879	0.14	33415	0.71	6624	0.14
2005	6420	0.13	32898	0.69	8121	0.17
2010	6311	0.13	31494	0.65	9927	0.2
2015	6039	0.12	29296	0.61	12112	0.25
増減 (2005-2015年比)	94.1		89.1		149.1	
2040	4012	0.1	21477	0.53	14457	0.36

潮来市

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	5195	0.16	21232	0.66	5517	0.17
2005	4482	0.14	20385	0.65	6421	0.2
2010	3873	0.12	19419	0.63	7194	0.23
2015	3381	0.11	17713	0.6	8218	0.28
増減 (2005-2015年比)	75.4		86.9		128.0	
2040	2054	0.09	11607	0.53	8182	0.37

牛久市

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	10599	0.14	53740	0.73	8917	0.12
2005	10319	0.13	53851	0.7	11827	0.15
2010	11003	0.13	54248	0.66	16428	0.2
2015	11300	0.13	51132	0.6	21633	0.25
増減 (2005-2015年比)	109.5		95.0		182.9	
2040	8848	0.11	44328	0.55	26951	0.33

香取市

	0~14歳		15~64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	12802	0.14	58469	0.64	19668	0.21
2005	10887	0.12	53812	0.62	21700	0.25
2010	9457	0.11	50131	0.6	23178	0.28
2015	8092	0.1	44301	0.56	25609	0.32
増減 (2005-2015年比)	74.3		82.3		118.0	
2040	4163	0.07	25067	0.47	23185	0.44

I. 現況及び都市数量分析

美浦村

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	2961	0.16	12460	0.68	2798	0.15
2005	2646	0.14	11980	0.66	3305	0.18
2010	2285	0.13	11233	0.65	3760	0.21
2015	1988	0.12	10205	0.61	4314	0.26
増減 (2005-2015年比)	75.1		85.2		130.5	
2040	1023	0.08	6210	0.51	4803	0.39

神崎町

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	1035	0.15	4352	0.64	1353	0.2
2005	928	0.13	4135	0.62	1586	0.23
2010	768	0.11	3905	0.6	1781	0.27
2015	613	0.09	3622	0.58	1954	0.31
増減 (2005-2015年比)	66.1		87.6		123.2	
2040	292	0.06	2063	0.46	2054	0.46

龍ヶ崎市

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	12828	0.16	54361	0.7	9657	0.12
2005	11902	0.15	53792	0.69	12016	0.15
2010	11118	0.13	53540	0.67	15132	0.18
2015	10026	0.12	51279	0.63	19098	0.23
増減 (2005-2015年比)	84.2		95.3		158.9	
2040	6425	0.09	38105	0.54	25059	0.36

成田市

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	17844	0.15	82751	0.7	16204	0.13
2005	16938	0.14	83354	0.69	18976	0.15
2010	18127	0.14	87111	0.68	22674	0.17
2015	18904	0.14	86360	0.64	28152	0.21
増減 (2005-2015年比)	111.6		103.6		148.4	
2040	15678	0.11	79461	0.58	40274	0.29

行方市

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	6061	0.14	25665	0.61	9727	0.23
2005	4989	0.12	23968	0.61	10293	0.26
2010	4341	0.11	22858	0.6	10383	0.27
2015	3716	0.1	20454	0.58	10936	0.31
増減 (2005-2015年比)	74.5		85.3		106.2	
2040	2033	0.08	11938	0.5	9777	0.41

栄町

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	3798	0.14	18093	0.71	3584	0.14
2005	2776	0.11	17200	0.71	4206	0.17
2010	2227	0.09	15403	0.68	4950	0.21
2015	1839	0.08	12836	0.6	6430	0.3
増減 (2005-2015年比)	66.2		74.6		152.9	
2040	817	0.06	6268	0.46	6439	0.47

利根町

	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
2000	2131	0.11	13987	0.73	2912	0.15
2005	1779	0.09	12600	0.7	3585	0.19
2010	1721	0.09	10836	0.62	4915	0.28
2015	1602	0.09	8886	0.52	6335	0.37
増減 (2005-2015年比)	90.1		70.5		176.7	
2040	833	0.07	5410	0.47	5212	0.45

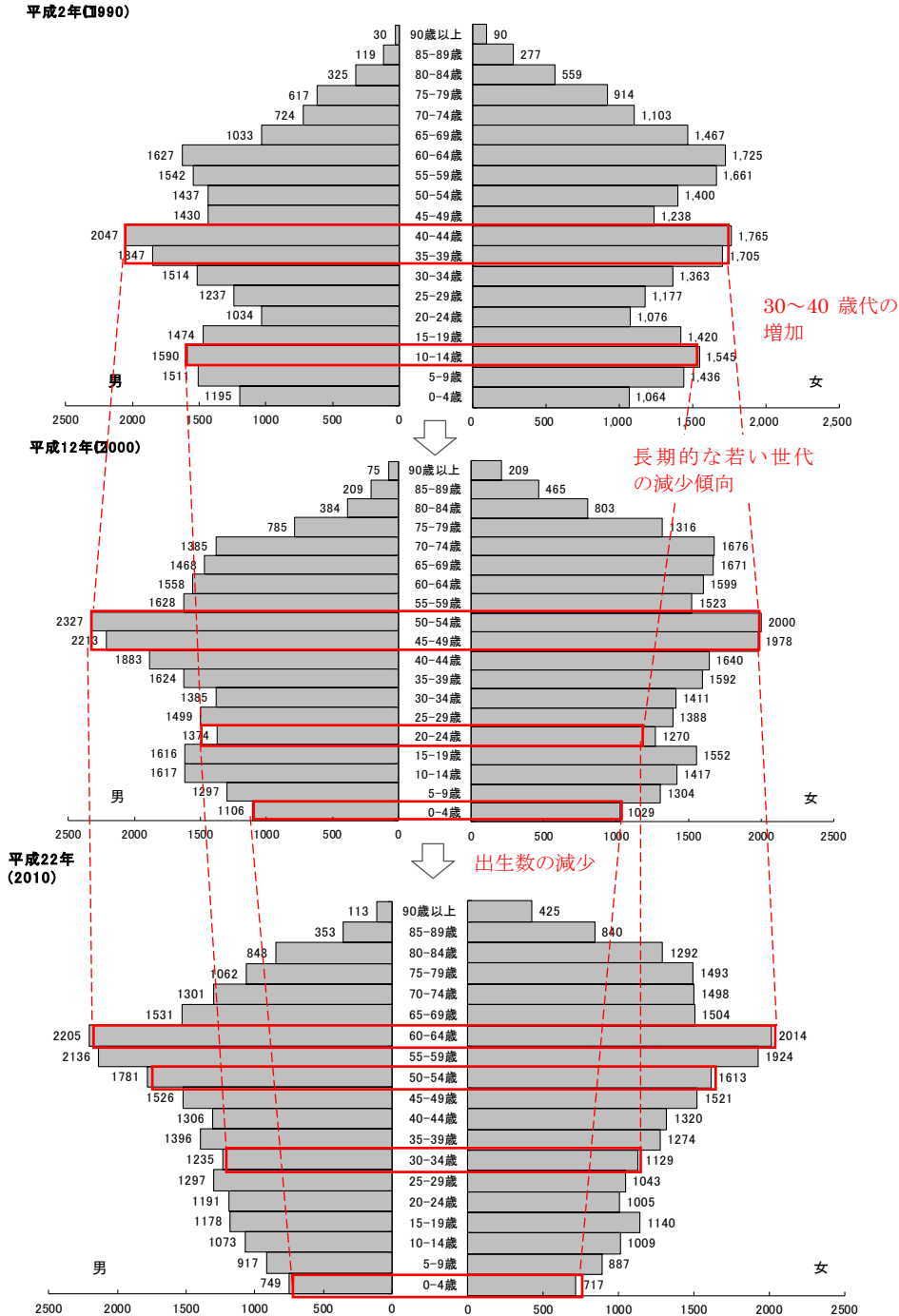
※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総人口については、年齢不詳は除いています。

・ 稲敷市の人口ピラミッド

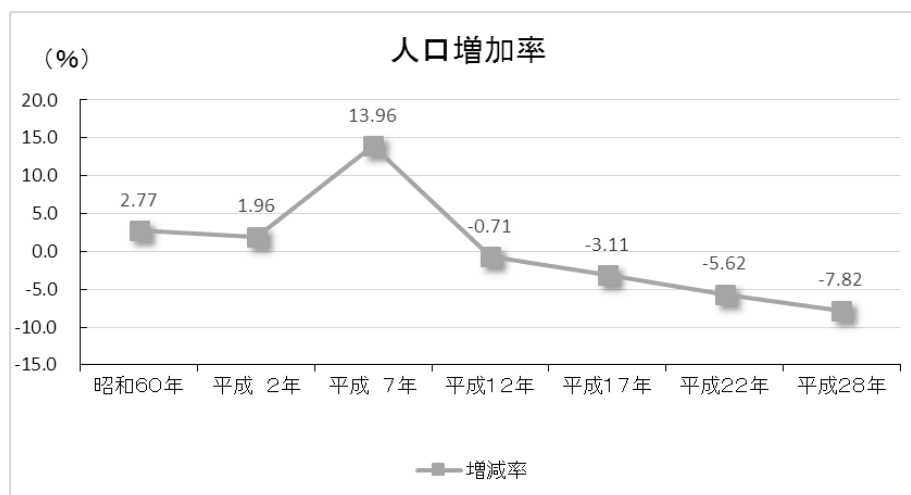
○平成2年以降30～40歳代の増加（現在の50～60歳代）による高齢化や出生数の減少や若い世代の長期的な減少による少子化が顕著です。少子高齢化が進行していることからひょうたん型からつぼ型に変化してきています。



※国勢調査

・人口増加率

○稲敷市の人口増加率は、平成7年に最も高い（13.96%）割合となっていたものの、平成12年以降はマイナスになり、20年以上減少傾向が続いています。



※平成26年度統計いなし（各年10月1日現在）
 ※昭和60、平成2、7、12、17、22年は国勢調査，その他の年次は茨城県常住人口調査による。

・市町村別人口増加率【都市間比較】

○県内の市町村別人口増加率（平成17年から27年までの10年間）をみると、稲敷市は行方市と並び-10.9%と8番目に人口減少が大きい自治体となっています。一方、守谷市やつくばみらい市、つくば市、牛久市は大きく増加しています。

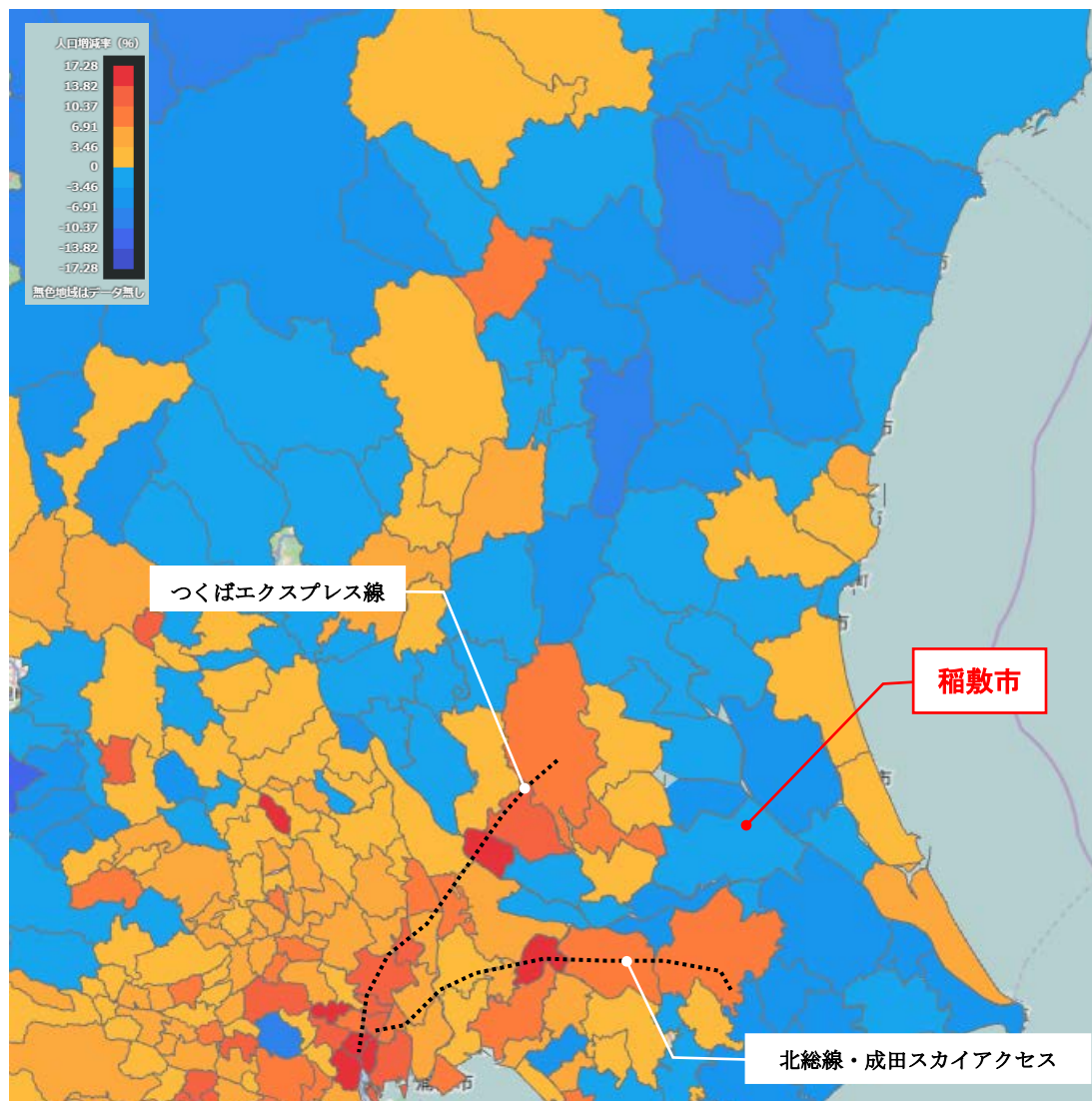
	平成17年	平成27年	増加率 (平成17年-平成27年)		平成17年	平成27年	増加率 (平成17年-平成27年)
水戸市	260,051	270,957	4.2%	筑西市	111,214	104,253	-6.3%
日立市	198,075	183,326	-7.4%	坂東市	56,649	54,350	-4.1%
土浦市	141,952	141,276	-0.5%	稲敷市	48,487	43,226	-10.9%
古河市	144,045	140,710	-2.3%	かすみがうら市	43,829	41,751	-4.7%
石岡市	81,224	75,947	-6.5%	桜川市	48,219	42,522	-11.8%
結城市	51,452	51,442	0.0%	神栖市	89,156	94,261	5.7%
龍ヶ崎市	77,710	78,702	1.3%	行方市	39,250	34,966	-10.9%
下妻市	44,928	43,233	-3.8%	銚田市	49,923	47,432	-5.0%
常総市	63,443	62,714	-1.1%	つくばみらい市	39,953	48,770	22.1%
常陸太田市	59,705	52,168	-12.6%	小美玉市	52,477	50,999	-2.8%
高萩市	32,771	29,170	-11.0%	茨城町	34,772	32,927	-5.3%
北茨城市	49,366	43,828	-11.2%	大洗町	18,500	16,815	-9.1%
笠間市	80,956	76,925	-5.0%	城里町	22,923	19,990	-12.8%
取手市	109,844	106,627	-2.9%	東海村	35,290	37,853	7.3%
牛久市	75,997	84,251	10.9%	大子町	21,994	18,009	-18.1%
つくば市	195,067	223,008	14.3%	美浦村	17,931	16,050	-10.5%
ひたちなか市	152,917	156,596	2.4%	阿見町	47,439	48,055	1.3%
鹿嶋市	63,992	66,869	4.5%	河内町	10,905	9,151	-16.1%
潮来市	31,288	29,028	-7.2%	八千代町	23,318	22,034	-5.5%
守谷市	53,097	64,590	21.6%	五霞町	9,815	8,820	-10.1%
常陸大宮市	47,556	42,492	-10.6%	境町	26,073	24,595	-5.7%
那珂市	54,526	53,542	-1.8%	利根町	17,964	16,556	-7.8%

※平成17年は国勢調査（10月1日現在）。
 ※平成27年は茨城県常住人口調査（8月1日現在）。

・市町村別人口増減率

○つくばTX沿線や北総線・成田スカイアクセスの沿線の自治体では人口増加が顕著となっています。稲敷市は、人口が増加しているつくば市や成田市に挟まれる位置に立地しています。

〈平成17年—平成22年〉「国勢調査」に基づく実績値



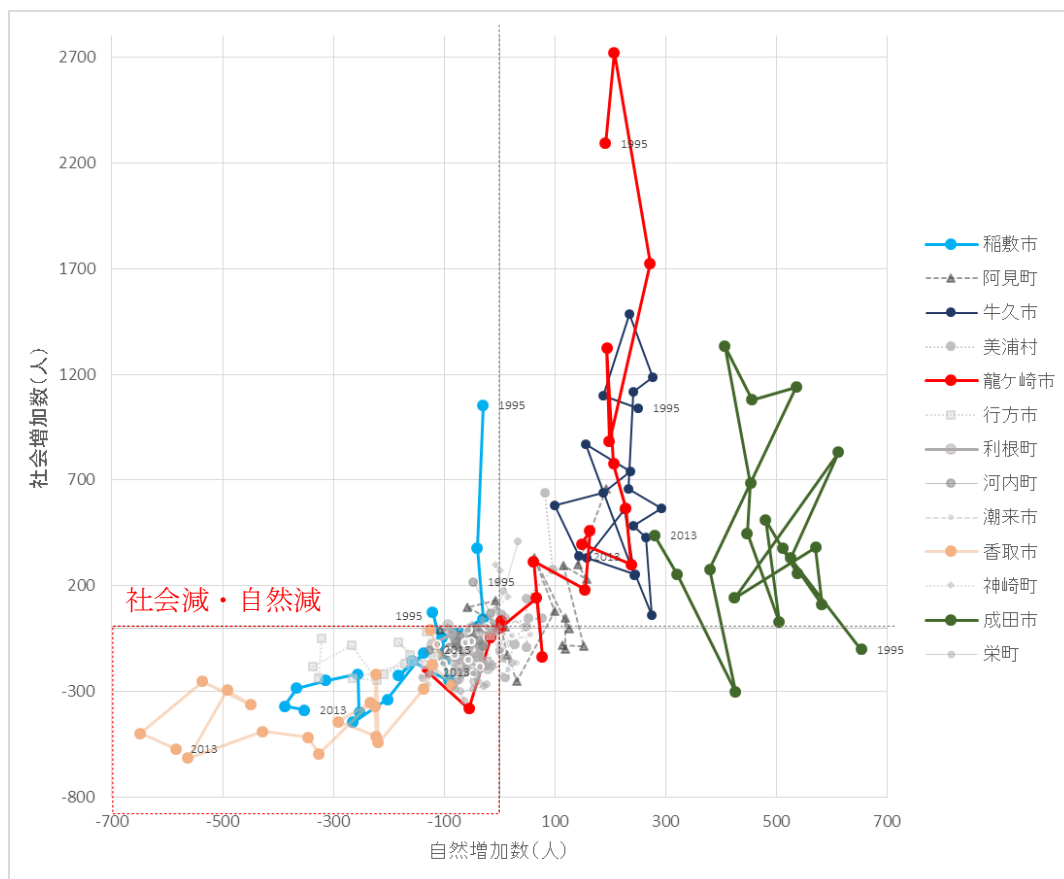
【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

2) 人口動態

・自然増減・社会増減の推移

- 自然増減と社会増減の推移をみると、1995年～1997年にかけては、自然増減はほぼ変わらず社会減となっています。1998年以降は緩やかな社会減となりながら、大きく自然減へと転じています。
- 周辺市町村では、ほぼ全ての自治体で自然減・社会減の傾向をみせています。成田市のみが自然減の傾向はありますが、社会増の傾向をみせています。

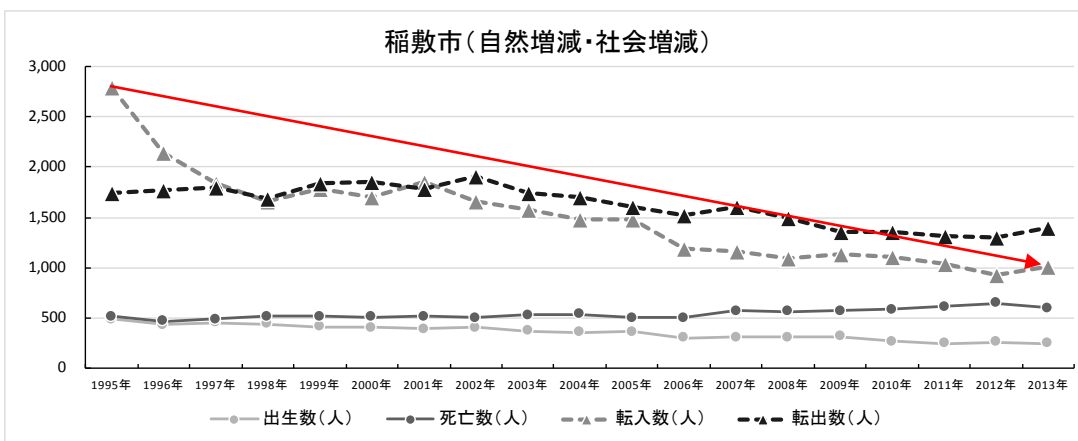


※地域経済分析システム（RESAS） 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」
 総人口のデータは、2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総人口については、年齢不詳は除いています。
 2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。

・自然増減・社会増減の推移

○過去 15 年間で転入者の減少が最も顕著な変化となっています。
 ○出生数が 1995 年以降減少し続け、死亡数が出生数を上回る自然減の状態が長期にわたり続いています。また、2002 年以降には、転出者数が転入者数を上回る転出超過の状況も続いています。

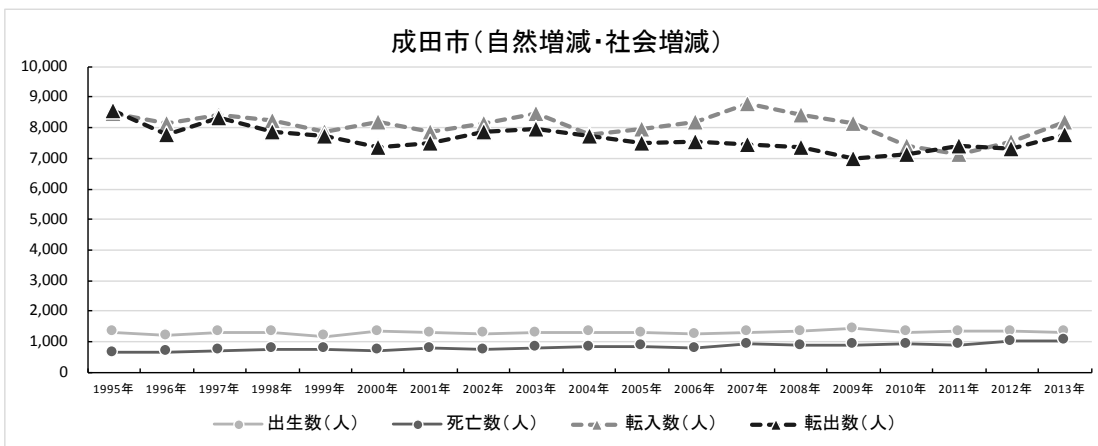
(稲敷市)



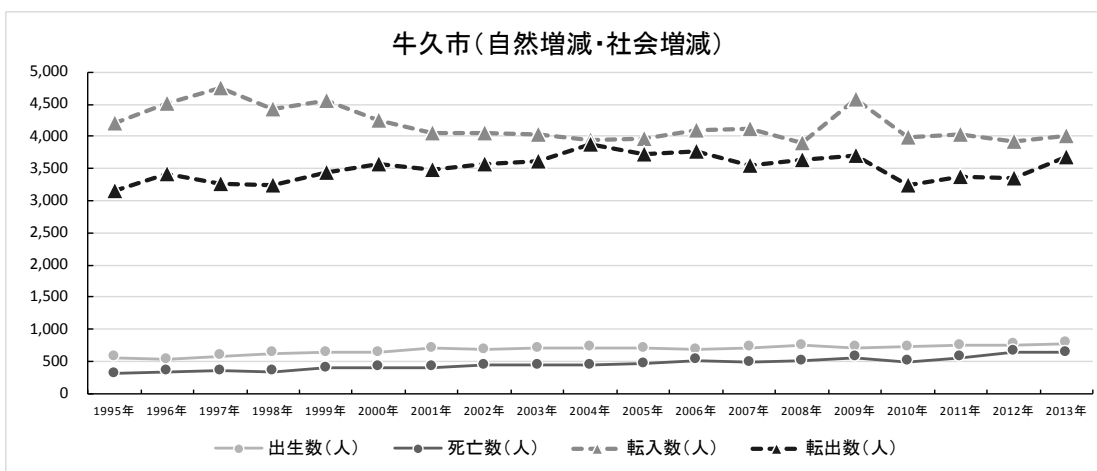
・周辺市町村の自然増減・社会増減の推移の比較【都市間比較】

○周辺市町村の自然増減・社会増減の推移をみると、牛久市や成田市を除き、すべての市町村で転出超過・自然減の状態となっています。

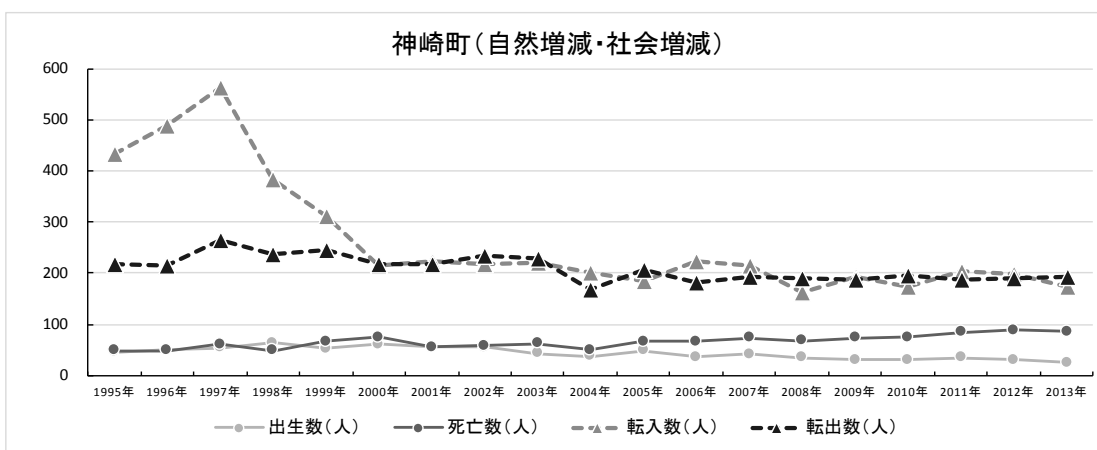
(成田市)



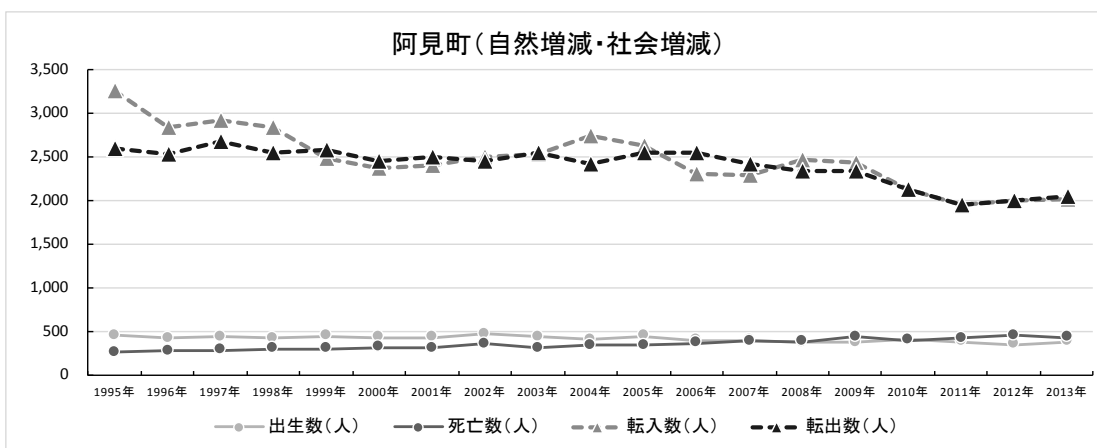
(牛久市)



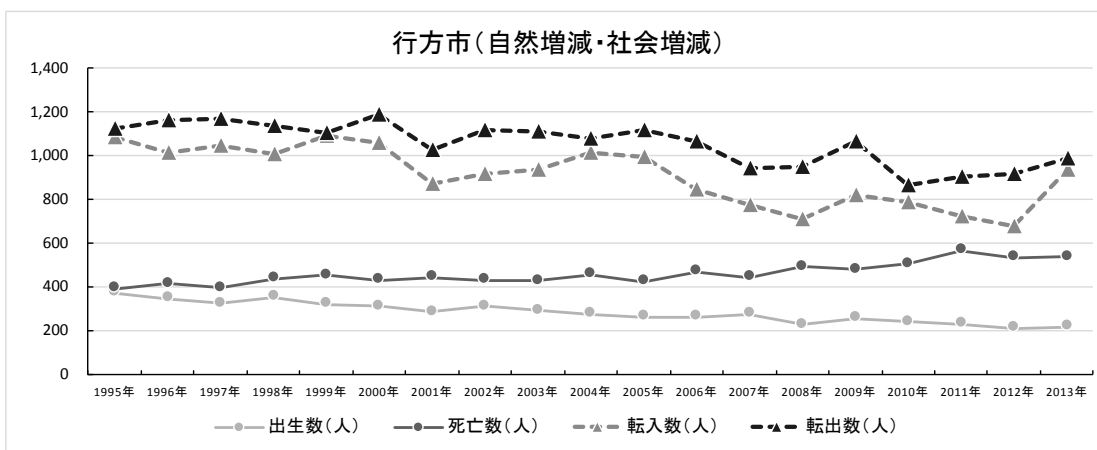
(神崎町)



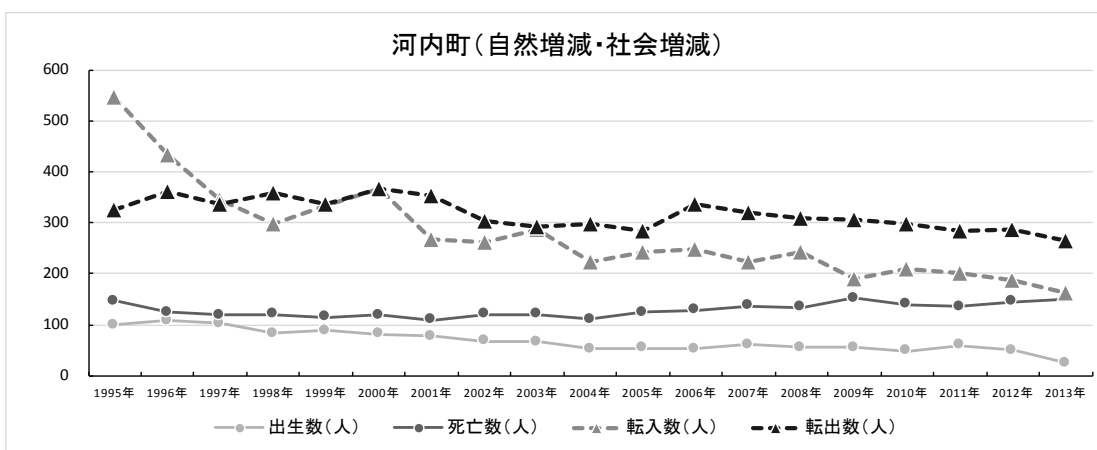
(阿見町)



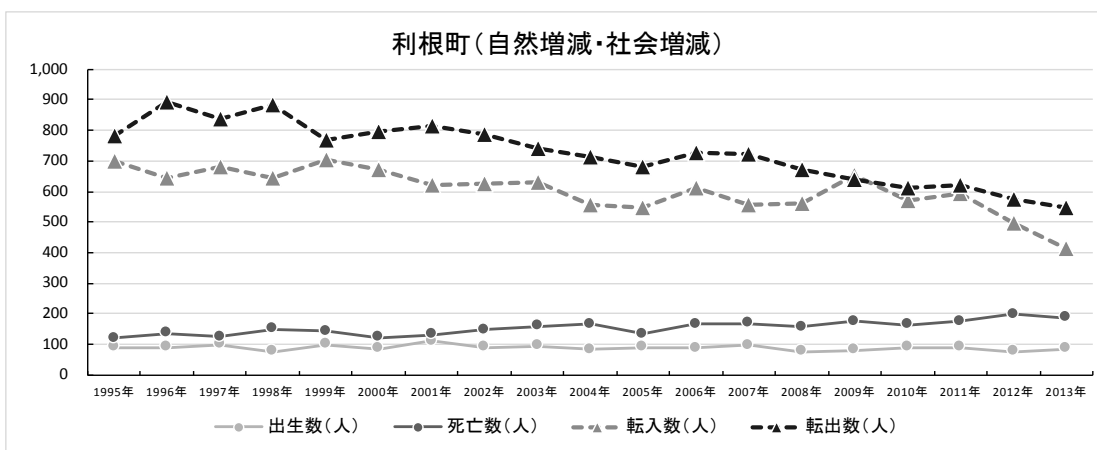
(行方市)



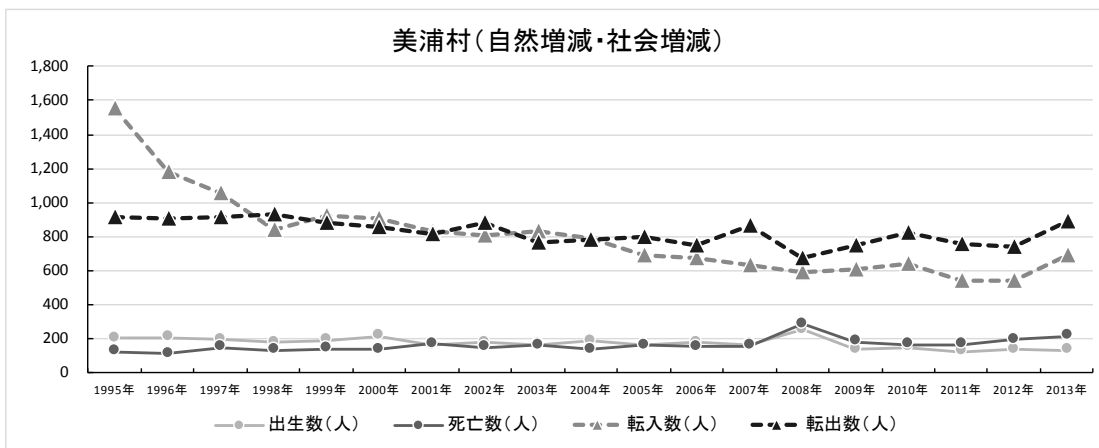
(河内町)



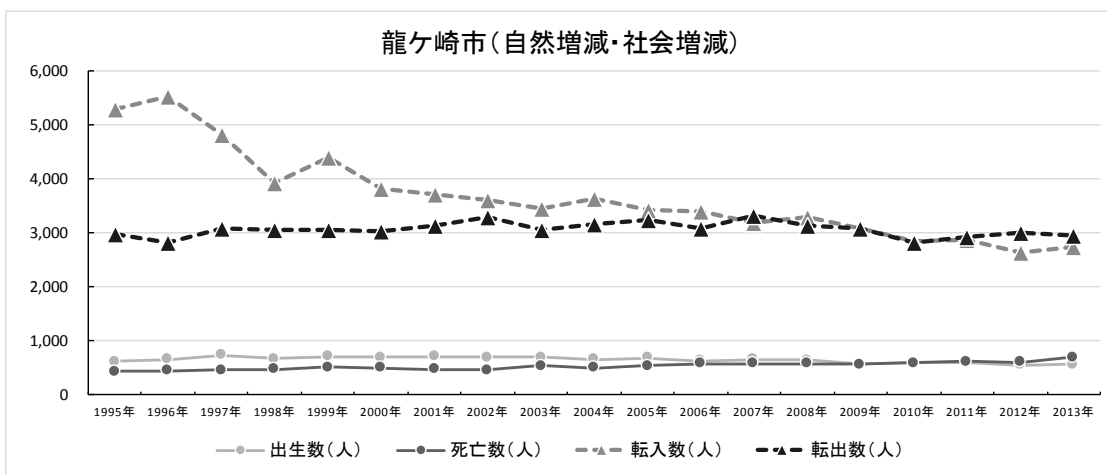
(利根町)



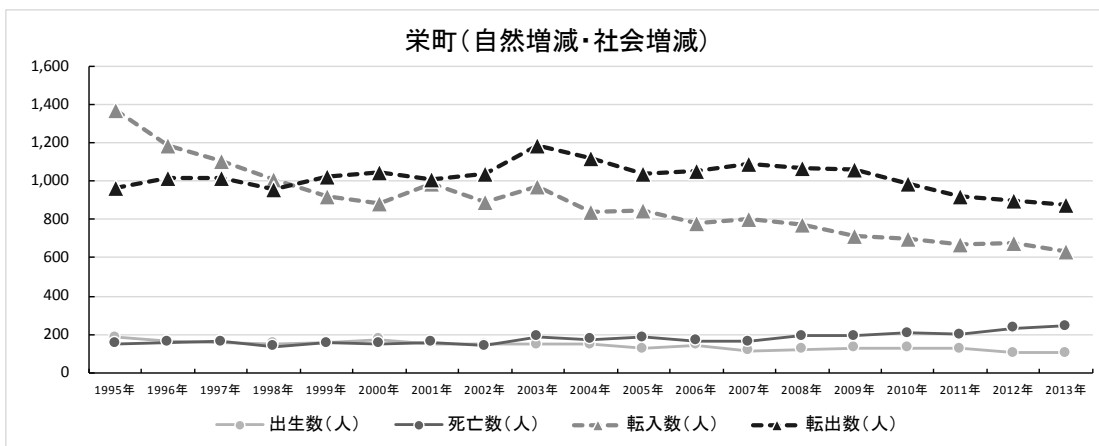
(美浦村)



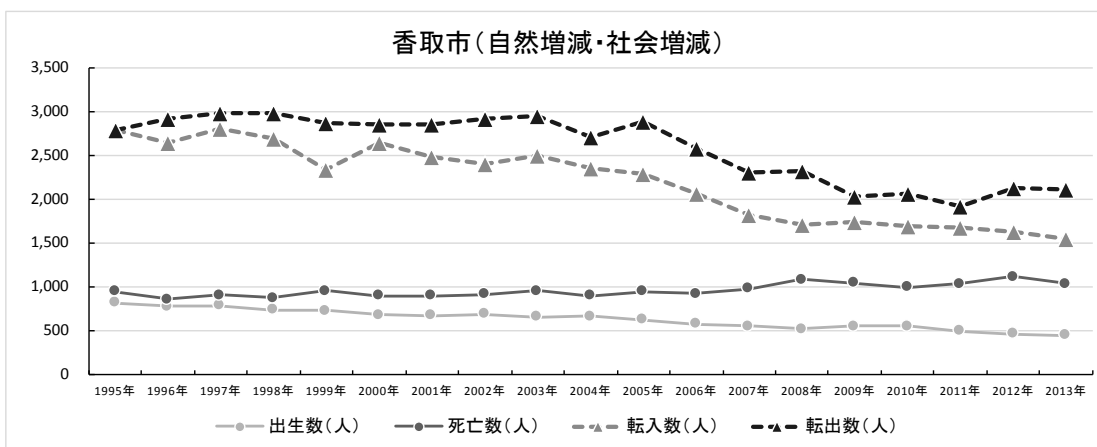
(龍ヶ崎市)



(栄町)



(香取市)

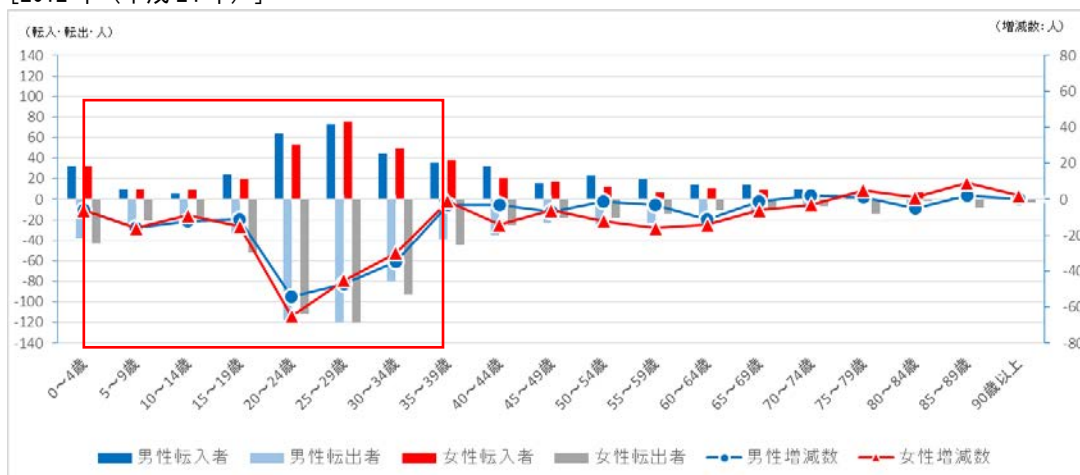


・男女別年齢階級別社会増減数の推移

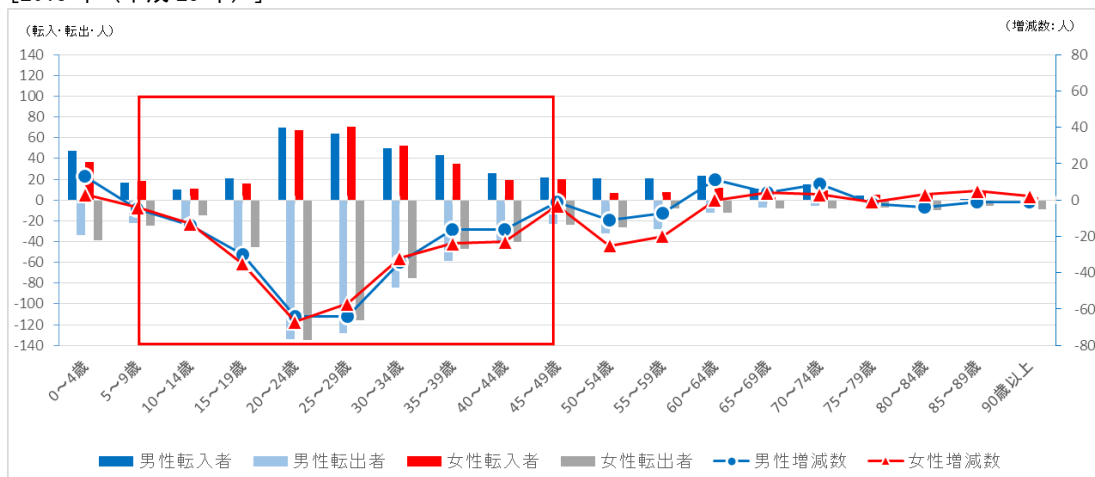
○男女別年齢階級別の過去3年分の社会増減をみると、20歳代の転出が転入を最も上回る年齢となっており、40歳頃まで転出超過が続きます。

(稲敷市)

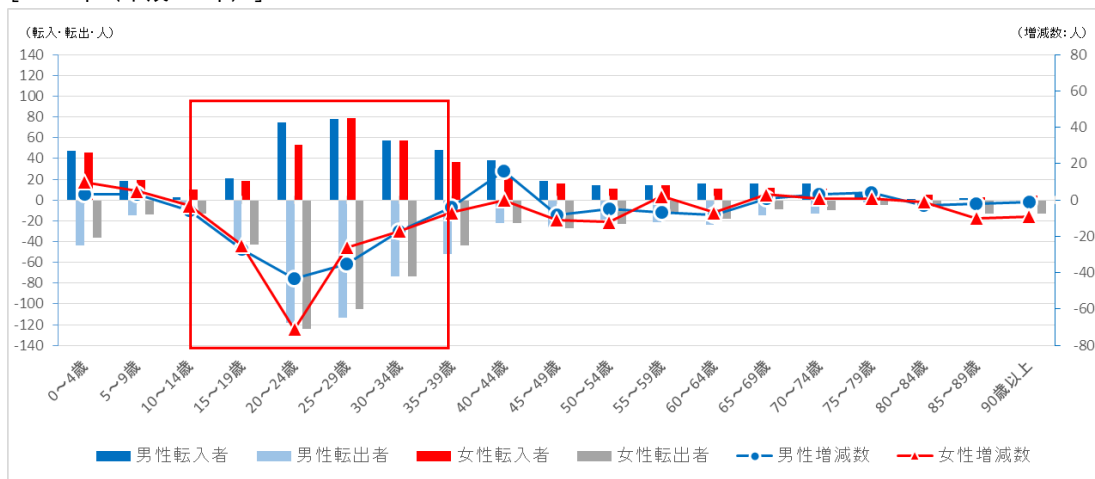
[2012年(平成24年)]



[2013年(平成25年)]



[2014年(平成26年)]

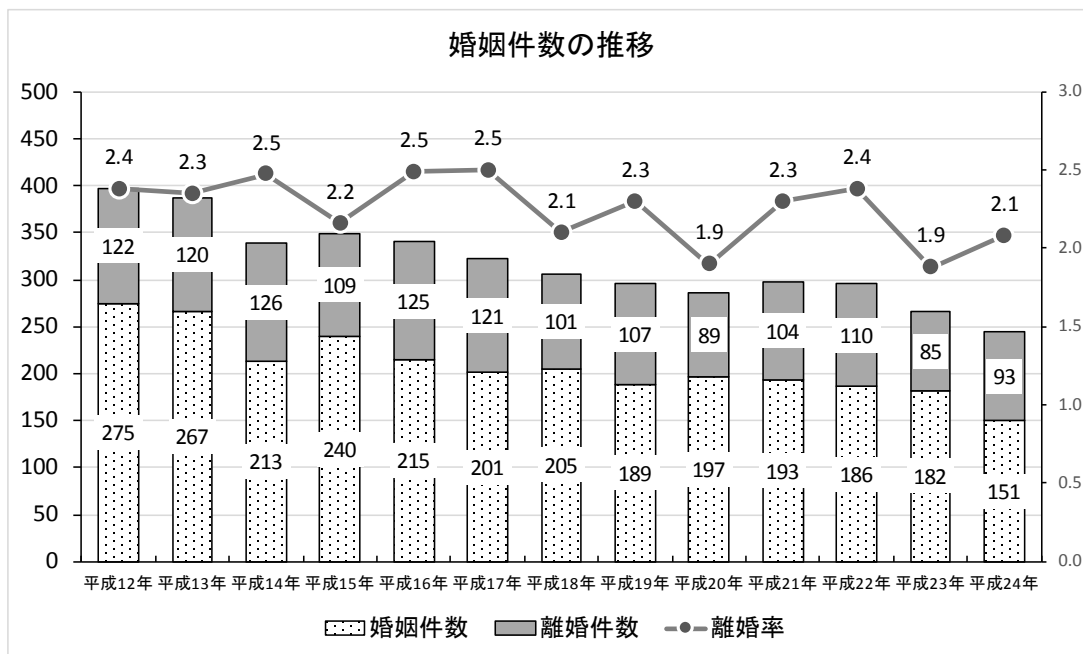


3) 婚姻・出生率

・婚姻件数

○婚姻件数、離婚件数ともに平成12年以降は増減を繰り返しながら、全体としては減少傾向となっています。特に婚姻件数が平成12年から約10年間で半減しています。

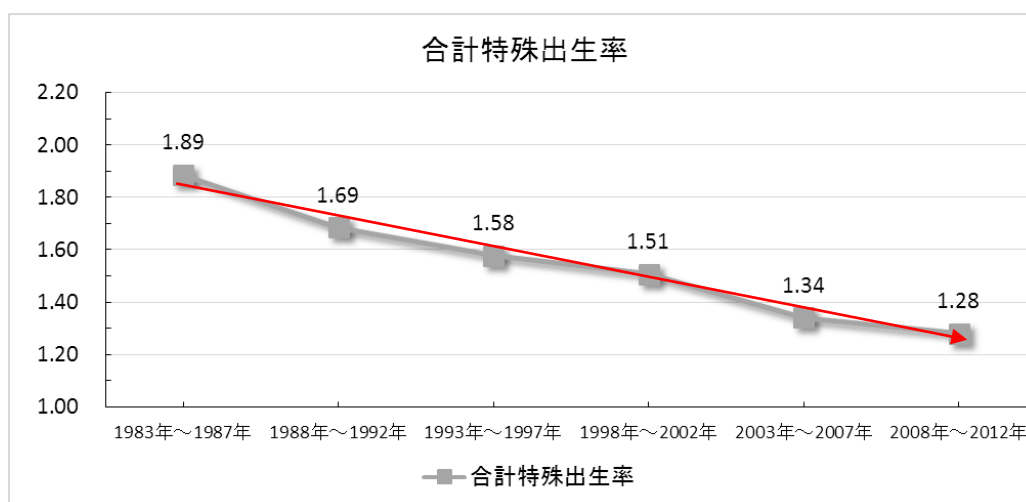
(稲敷市)



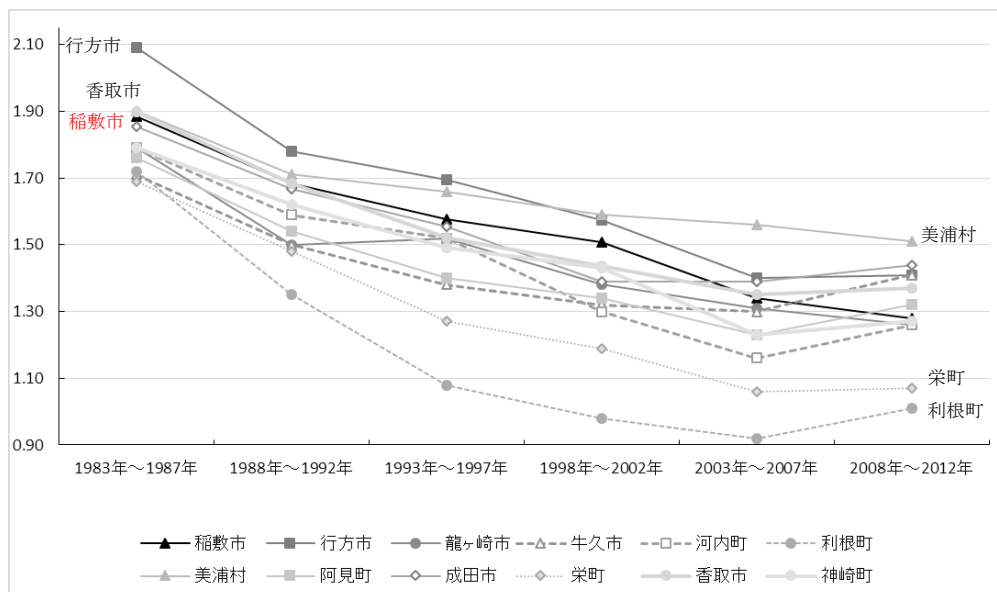
・合計特殊出生率

○合計特殊出生率の推移をみると長期的に減少が続いています。
 ○周辺市町村と比較すると稲敷市は下位6番目となっています。

(稲敷市)



・合計特殊出生率【都市間比較】



	稲敷市	行方市	龍ヶ崎市	牛久市	河内町	利根町	美浦村	阿見町	成田市	栄町	香取市	神崎町
1983年～1987年	1.89	2.09	1.79	1.71	1.79	1.72	1.90	1.76	1.85	1.69	1.90	1.79
1988年～1992年	1.69	1.78	1.50	1.50	1.59	1.35	1.71	1.54	1.67	1.48	1.69	1.62
1993年～1997年	1.58	1.69	1.52	1.38	1.52	1.08	1.66	1.40	1.55	1.27	1.52	1.49
1998年～2002年	1.51	1.57	1.38	1.32	1.30	0.98	1.59	1.34	1.39	1.19	1.44	1.43
2003年～2007年	1.34	1.40	1.31	1.30	1.16	0.92	1.56	1.23	1.39	1.06	1.35	1.23
2008年～2012年	1.28	1.41	1.26	1.41	1.26	1.01	1.51	1.32	1.44	1.07	1.37	1.27

※資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

※合計特殊出生率はベイズ推定法を用いて算出

※1983年～2002年：(稲敷市) 旧江戸崎町、旧新利根町、旧桜川村、旧東町の平均値を算出

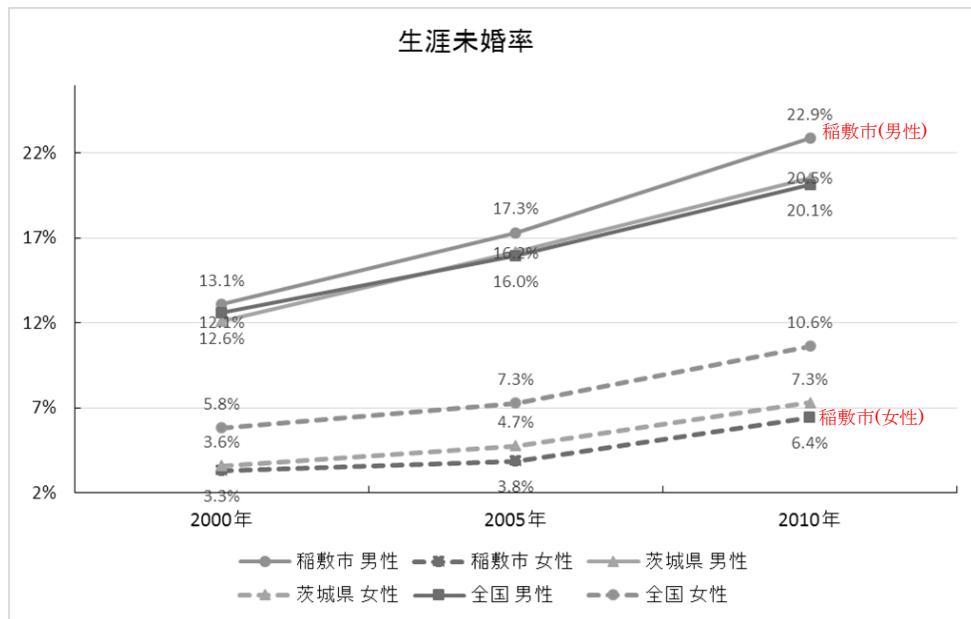
(行方市) 旧北浦町、旧玉造町、旧麻生町の平均値を算出

(香取市) 旧佐原市・旧小見川町・旧山田町・旧栗源町の平均値を算出

(成田市) 旧成田市・旧下総町・旧大栄町の平均値を算出

・生涯未婚率

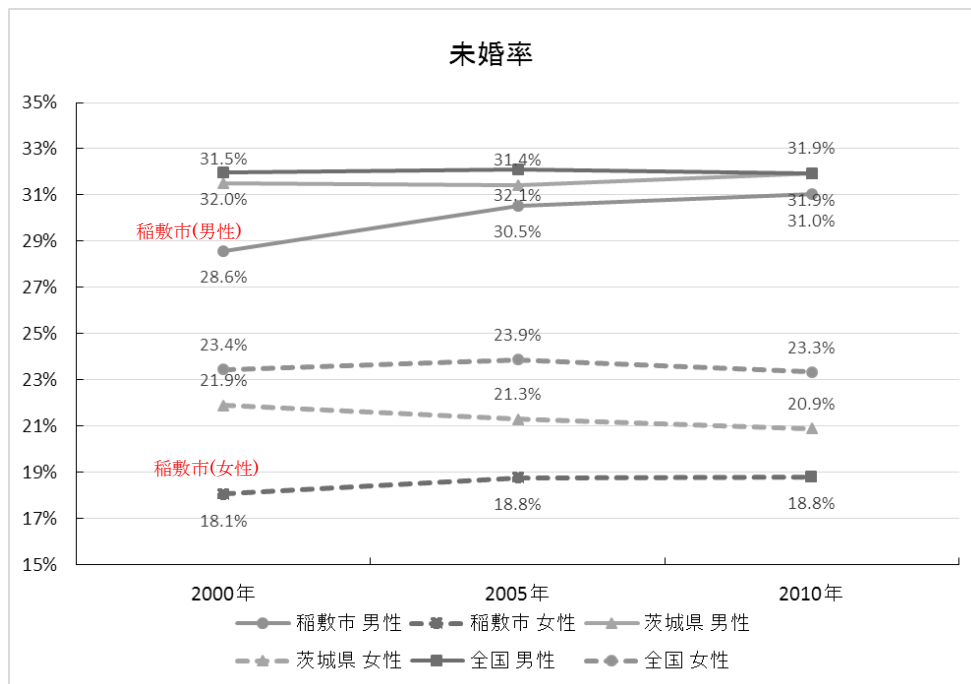
○生涯未婚率をみると、男性は全国、茨城県に比べて高く、女性では全国、茨城県に比べて低くなっています。



※資料：国勢調査

・未婚率

○未婚率をみると、男性と女性ともに全国、茨城県より低くなっています。また、稲敷市の男性の未婚率は増加傾向となっています。

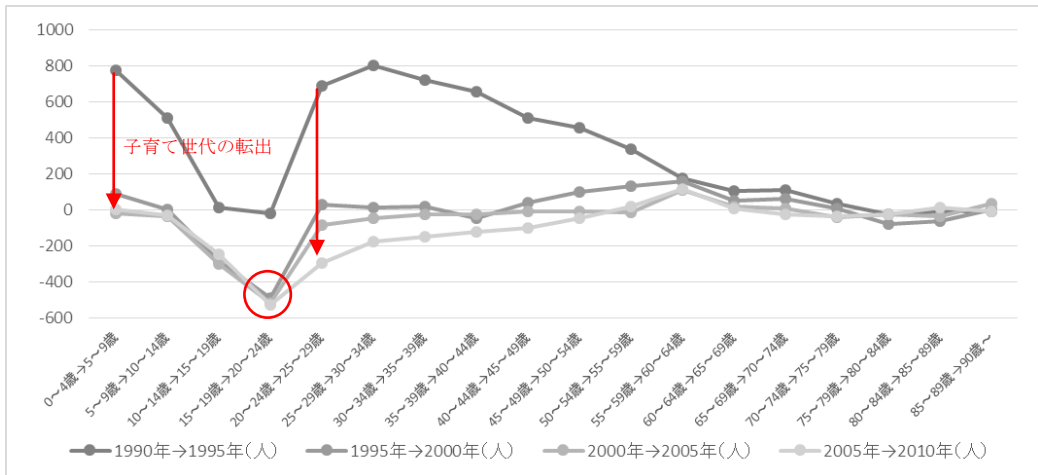


※資料：国勢調査

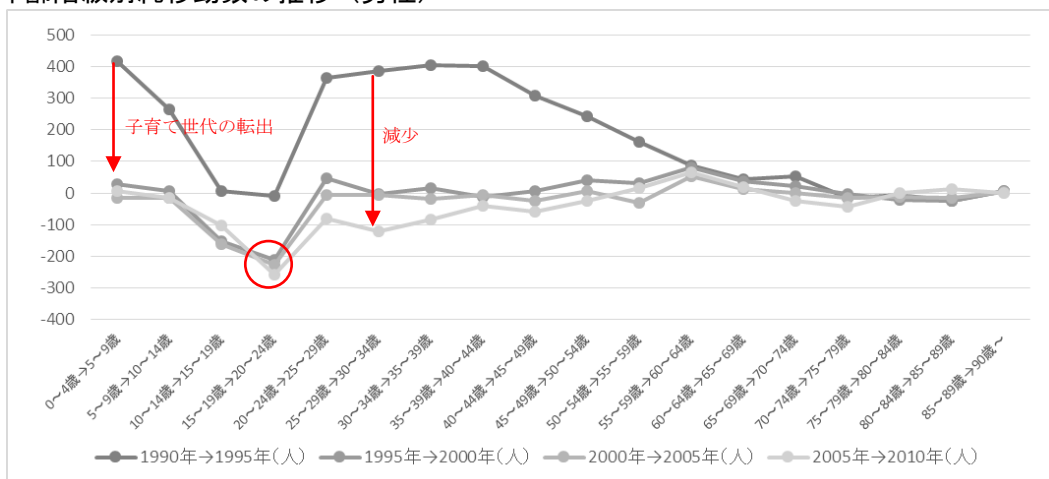
4) 地域間の移動

・年齢階級別純移動数

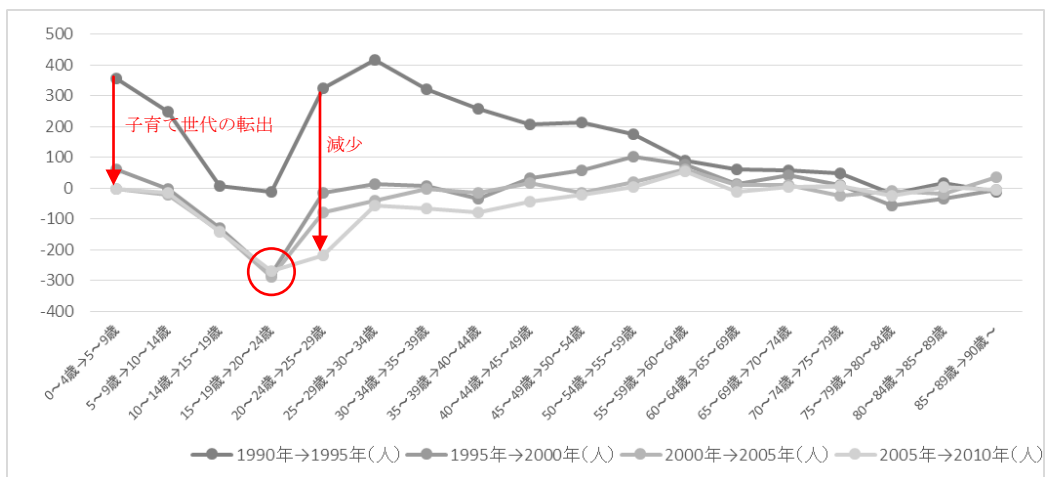
○過去 20 年の純移動数（転入数と転出数の差）みると、20 歳前後で転出超過が最も高い年代となっています。また、男女ともに特に 10 歳未満、20 代から 30 代にかけて移動数の減少（転出超過）が顕著となっており、子育て世帯が転出する傾向がうかがえます。



・年齢階級別純移動数の推移（男性）



・年齢階級別純移動数の推移（女性）



※地域経済分析システム（RESAS）

【出典】総務省「国勢調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」に基づきまち・ひと・しごと創

生本部作成

・年齢3区分別純移動数

○年齢3区分別の純移動数をみると、生産年齢人口は2010年～2013年まで一貫して減り続け、幼年人口と老年人口は一旦減ったものの2013年にやや回復しています。

	純移動数 (0～14歳)(人)	純移動数 (15～64歳)(人)	純移動数 (65歳～)(人)
2010年	15	-268	2
2011年	-15	-285	-6
2012年	-66	-379	-5
2013年	-19	-453	-1

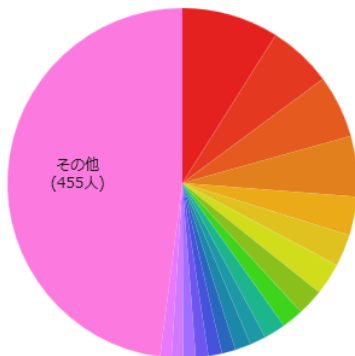
※総務省「住民基本台帳人口移動報告」

・転入・転出

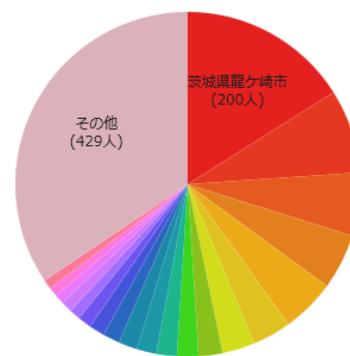
○転入・転出数ともに龍ヶ崎市が最も多い自治体となっています。
 ○転入超過（転入が転出を上回る）は美浦村、石岡市、転出超過（転出が転入を上回る）は龍ヶ崎市、牛久市、土浦市などが多くなっています。

■転入・転出数内訳

転入数内訳(2014年)



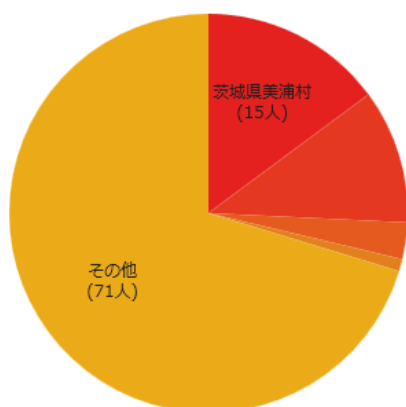
転出数内訳(2014年)



- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ● 1位 茨城県龍ヶ崎市 85人 (9%) | ● 1位 茨城県龍ヶ崎市 200人 (16%) |
| ● 2位 茨城県阿見町 56人 (5.9%) | ● 2位 茨城県牛久市 98人 (7.9%) |
| ● 3位 茨城県牛久市 55人 (5.8%) | ● 3位 茨城県阿見町 74人 (5.9%) |
| ● 4位 茨城県美浦村 53人 (5.6%) | ● 4位 茨城県つくば市 65人 (5.2%) |
| ● 5位 茨城県つくば市 34人 (3.6%) | ● 5位 茨城県土浦市 63人 (5.1%) |
| ● 6位 千葉県香取市 28人 (3%) | ● 6位 茨城県取手市 45人 (3.6%) |
| ● 7位 千葉県成田市 28人 (3%) | ● 7位 茨城県美浦村 38人 (3%) |
| ● 8位 茨城県土浦市 23人 (2.4%) | ● 8位 千葉県成田市 28人 (2.2%) |
| ● 9位 茨城県河内町 19人 (2%) | ● 9位 千葉県香取市 25人 (2%) |
| ● 10位 茨城県潮来市 19人 (2%) | ● 10位 茨城県潮来市 24人 (1.9%) |

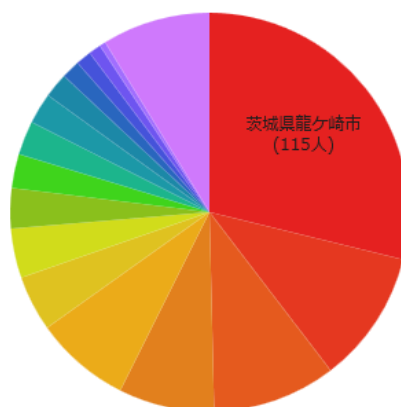
■ 転入・転出超過状況

転入超過数内訳(2014年)



- 1位 茨城県美浦村 15人 (14.9%)
- 2位 茨城県石岡市 11人 (10.9%)
- 3位 千葉県香取市 3人 (3%)
- 4位 千葉県船橋市 1人 (1%)
- 5位 その他 71人 (70.3%)

転出超過数内訳(2014年)



- 1位 茨城県龍ヶ崎市 115人 (28.8%)
- 2位 茨城県牛久市 43人 (10.8%)
- 3位 茨城県土浦市 40人 (10%)
- 4位 茨城県つくば市 31人 (7.8%)
- 5位 茨城県取手市 31人 (7.8%)
- 6位 茨城県阿見町 18人 (4.5%)
- 7位 千葉県我孫子市 16人 (4%)
- 8位 東京都足立区 13人 (3.3%)
- 9位 東京都新宿区 11人 (2.8%)
- 10位 茨城県かすみがうら市 11人 (2.8%)

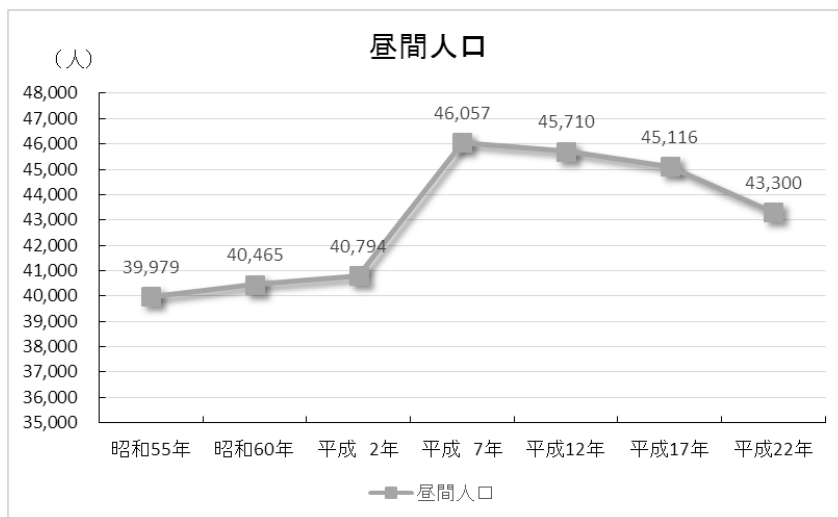
※総務省「住民基本台帳人口移動報告」

・ 昼間人口

○ 昼間人口は平成 7 年のピーク以降は減少傾向が続いています。昼夜間人口比率は、0.9 あたり（夜間人口が多い）で横ばいの状態が続いています。

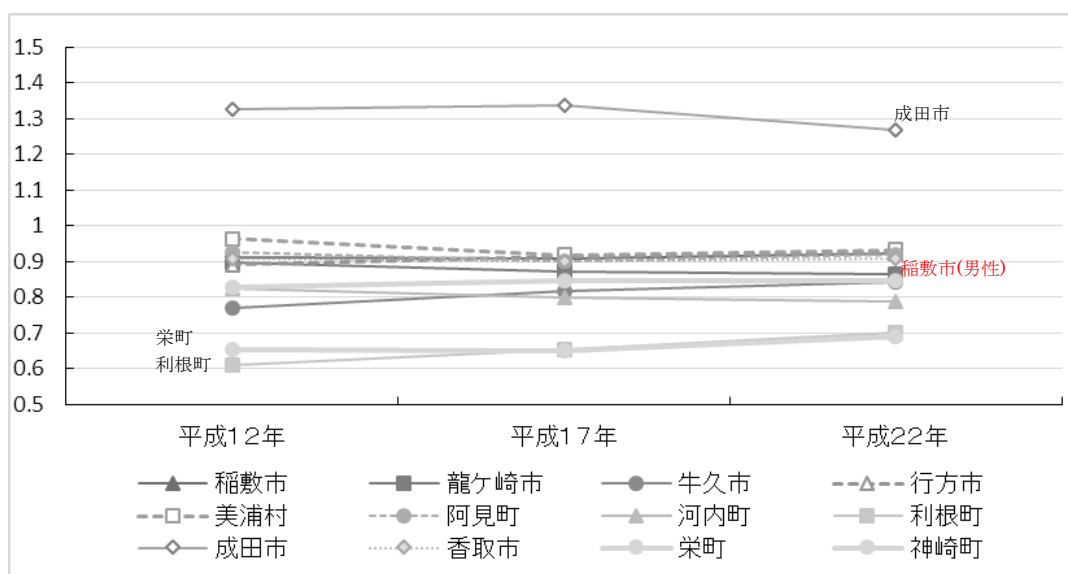
○ 周辺市町村では、成田市の昼間人口が夜間人口の 130%と突出して高い状況です。

■ 昼間人口



※平成 26 年度統計稲敷（国勢調査各年 10 月 1 日現在）

■ 昼夜間人口比率【都市間比較】



※国勢調査

・ 滞在人口/滞在人口率【都市間比較】

- 稲敷市の滞在人口は平日より休日のほうがやや多い状況です。
- 成田市をはじめ、つくば市、阿見町は平日と休日ともに滞在人口率が高い自治体となっています。稲敷市の休日の滞在人口は成田市、つくば市、阿見町に次いで高い割合となっています。

	平日		休日	
	滞在人口合計	滞在人口率	滞在人口合計	滞在人口率
稲敷市	86200	1.84	91800	1.96
龍ヶ崎市	143700	1.80	144400	1.81
牛久市	149000	1.82	148000	1.81
つくば市	436800	2.06	439200	2.08
潮来市	50100	1.64	53100	1.74
行方市	64800	1.72	66100	1.76
美浦村	28500	1.65	26600	1.54
阿見町	96700	2.03	101100	2.12
河内町	20800	2.04	18300	1.80
利根町	24300	1.39	23300	1.33
成田市	332600	2.60	333400	2.61
香取市	130100	1.57	133000	1.61
栄町	35200	1.56	36200	1.60
神崎町	10100	1.56	9300	1.44

※地域経済分析システム（RESAS）

【出典】株式会社 Agoop「流動人口データ」

【注記】滞在人口とは、地域の人口に対する滞在人口の比率で、市区町村単位で滞留時間が2時間の人口を表しています。

・通勤通学流動（平成22年）

○稲敷市に住む従業者の減少にともなって、主な通勤先（流出）である龍ヶ崎市や美浦村、牛久市なども減少しています。一方、市内の従業者は減少していますが、主な通勤元（流入）である龍ヶ崎、美浦村、香取市などの通勤者が増加しています。

○通学は土浦市、龍ヶ崎市への通学者が大きく減少しています。

■就業者

		(平成12年)	(平成22年)	
流出	市内に住む従業者	24,863	22,412	
	市外で働く市民	10,647	10,776	
	茨城県内	1位 龍ヶ崎市	1,531	1,447
		2位 美浦村	1,366	946
		3位 阿見町	958	895
		4位 土浦市	828	874
		5位 牛久市	628	709
	千葉県	1位 成田市	830	872
		2位 香取市	499	482
	流入	市内の従業者	23,786	20,091
市外に住み市内で働く従業者		6,789	7,239	
茨城県内		1位 龍ヶ崎市	820	1,092
		2位 美浦村	714	749
		3位 河内町	470	544
		4位 牛久市	439	532
		5位 阿見町	411	521
千葉県		1位 香取市	889	840
		2位 成田市	200	222

■通学者

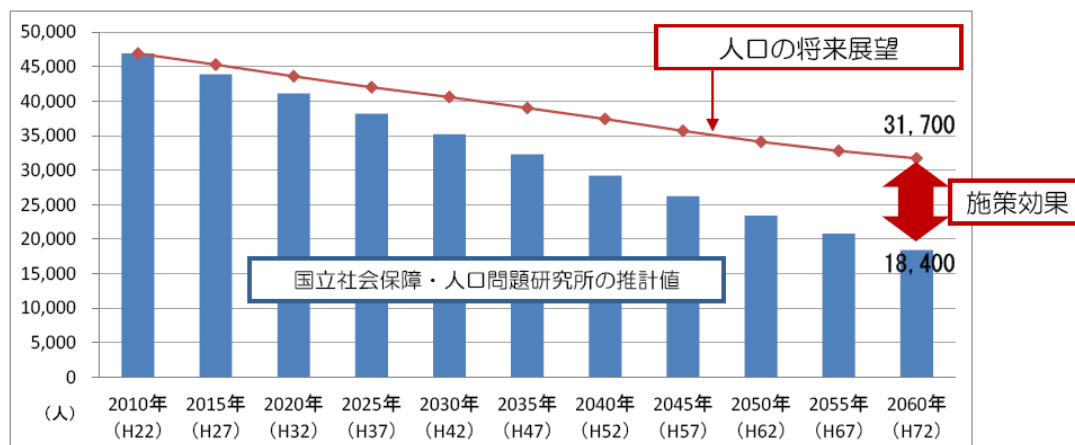
		(平成12年)	(平成22年)
流出	市内に住む通学者	2,744	2,182
	市外に通学する市民	1,981	1,593
	1位 土浦市	415	196
	2位 龍ヶ崎市	340	170
	3位 阿見町	119	134
	4位 牛久市	110	97
流入	市内の通学者	1,247	1,024
	市外に住み市内に通学する通学者	330	281
	1位 美浦村	103	74
	2位 阿見町	58	57
	3位 龍ヶ崎市	54	29
	4位 牛久市	37	26
	5位 河内町	18	16

※国勢調査

5) 人口の将来展望（人口ビジョン）

○人口の将来展望は、施策効果により、人口推計の出生率 2.1、人口移動の均衡を目指し、2060年（45年後）に32,000人の人口の確保を目指します。

図一人口の将来展望



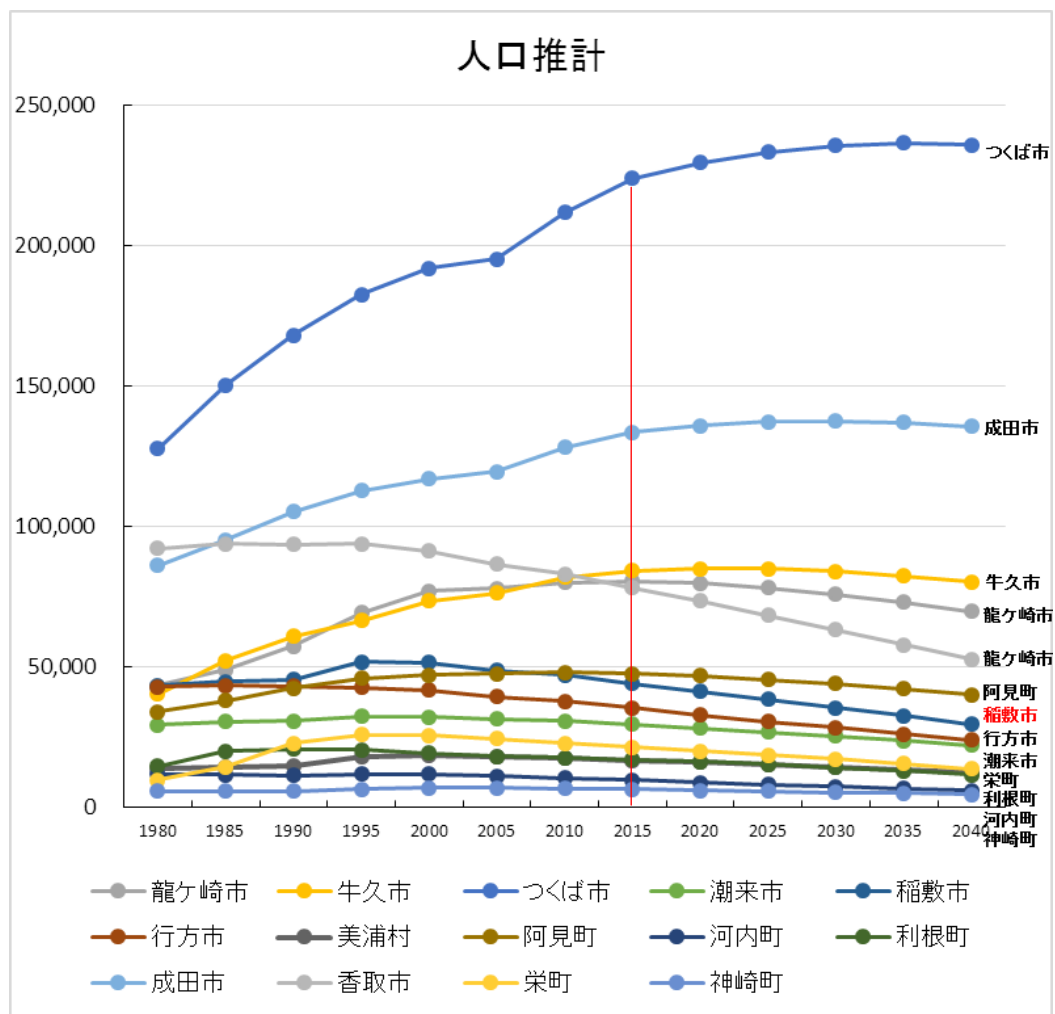
表一人口の将来展望

	H22	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67	H72	
年少人口 [15歳未満]	人	5,352	4,600	4,200	4,200	4,300	4,600	4,800	4,900	4,800	4,600	4,600
	%	(11.4%)	(10.2%)	(9.6%)	(10.0%)	(10.6%)	(11.8%)	(12.8%)	(13.7%)	(14.1%)	(14.0%)	(14.5%)
生産年齢人口 [15～64歳]	人	29,271	26,700	24,300	22,300	20,800	19,600	18,500	17,700	17,100	16,800	16,300
	%	(62.4%)	(58.9%)	(55.7%)	(53.1%)	(51.2%)	(50.1%)	(49.5%)	(49.6%)	(50.1%)	(51.2%)	(51.4%)
老年人口 [65歳以上]	人	12,270	14,000	15,100	15,500	15,500	14,900	14,100	13,100	12,200	11,400	10,800
	%	(26.2%)	(30.9%)	(34.6%)	(36.9%)	(38.2%)	(38.1%)	(37.7%)	(36.7%)	(35.8%)	(34.8%)	(34.1%)
合計	人	46,893	45,300	43,600	42,000	40,600	39,100	37,400	35,700	34,100	32,800	31,700

※稲敷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンより

・周辺市町村との人口推計の比較【都市間比較】

○つくば市と成田市は増加傾向となっていますが、その他、稲敷市を含む周辺都市では減少傾向が続くことが推計されています。



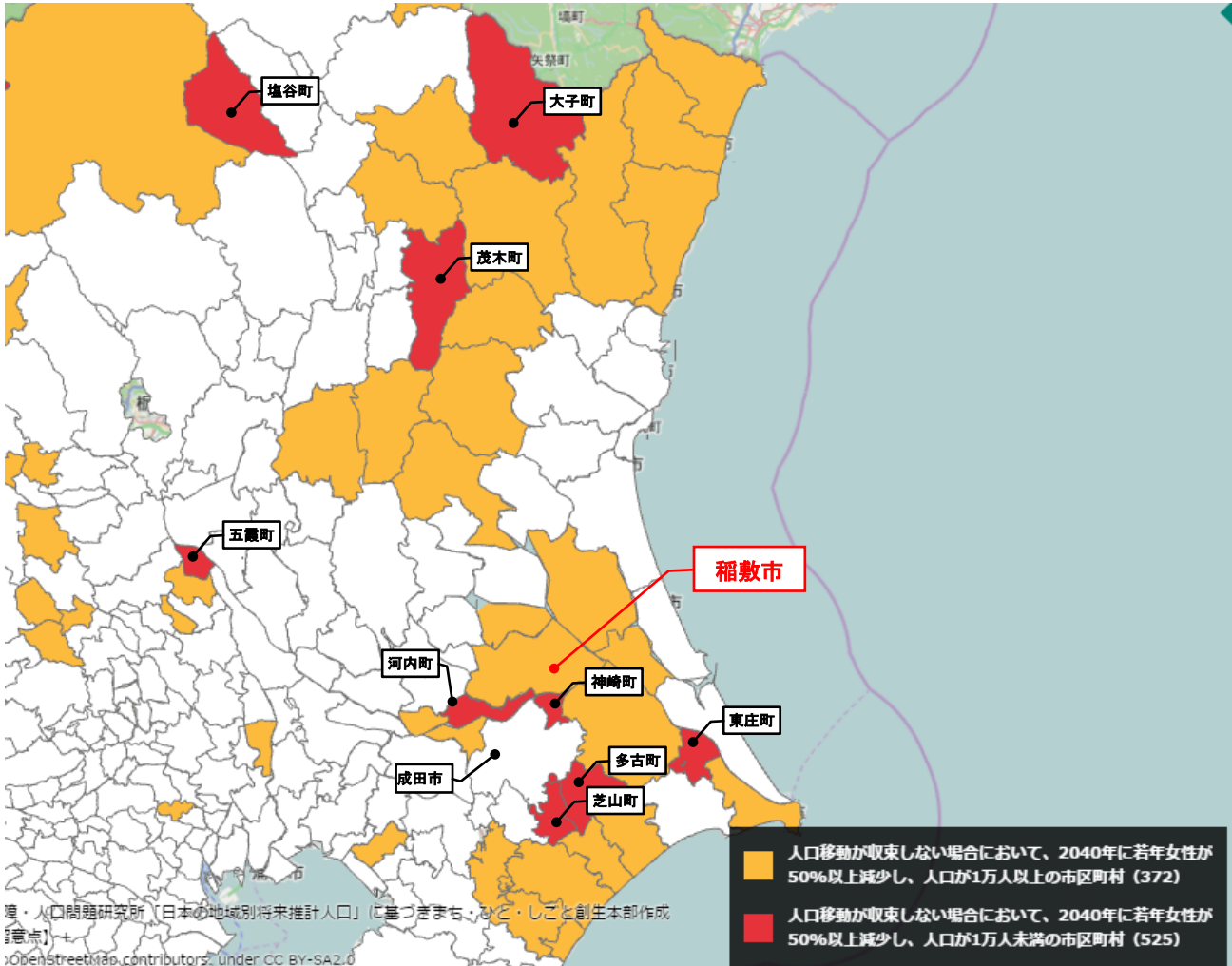
※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2010年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2015年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータに基づく推計値。総人口については、年齢不詳は除いています。

・将来人口マップ・シミュレーション

○成田市を中心に、若年女性が50%以上減少する1万人以上・1万人未満の市町村が増加していくシミュレーションとなっています。



国・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成
 (留意点) +
 OpenStreetMap contributors Under CC BY-SA2.0
 ※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

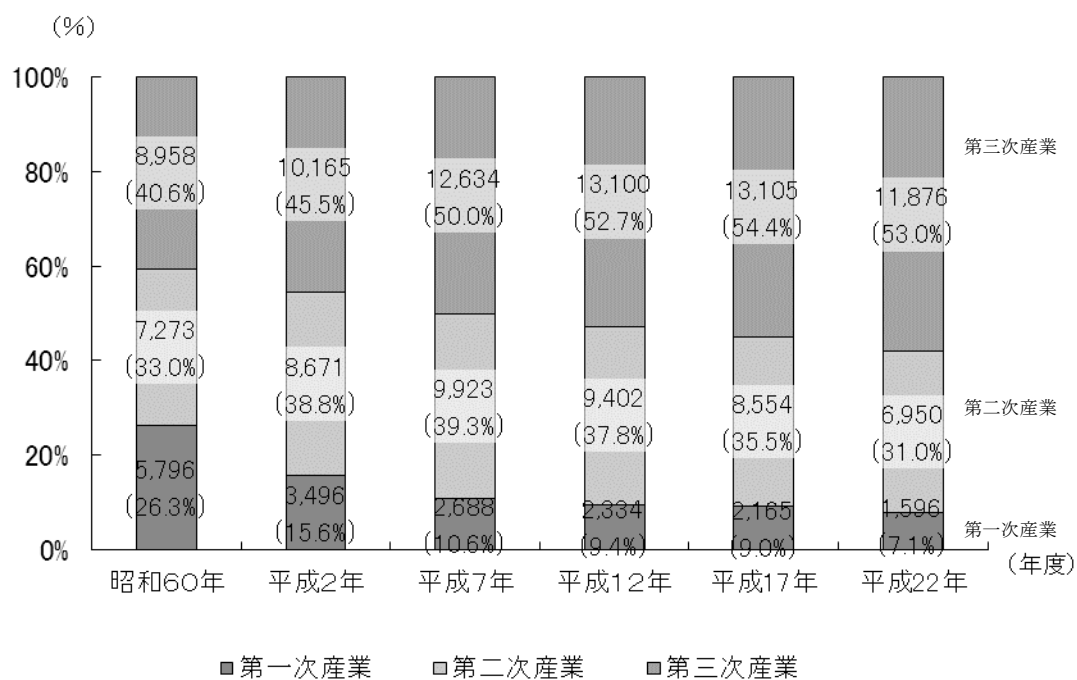
3. 産業

1) 産業の動向

・産業別就業者構成比の推移

- 第一次産業の就業者は、減少傾向が続き 25 年間で約 7 割減少しています。
- 第二次産業の就業者は、平成 7 年をピークに減少に転じ、現在も減少傾向が続いています。
- 第三次産業の就業者は、増加傾向が続き 5 割以上を占めています。

産業別就業者数の推移



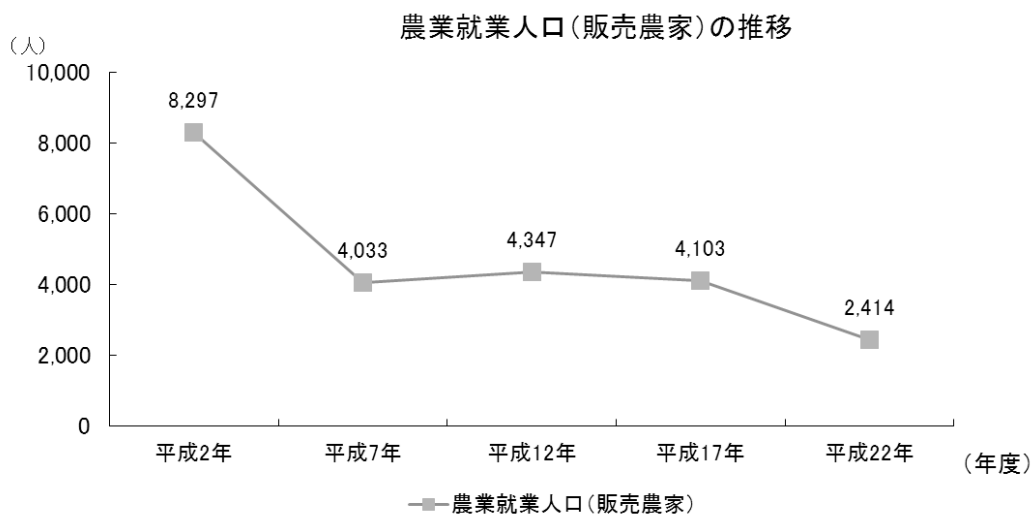
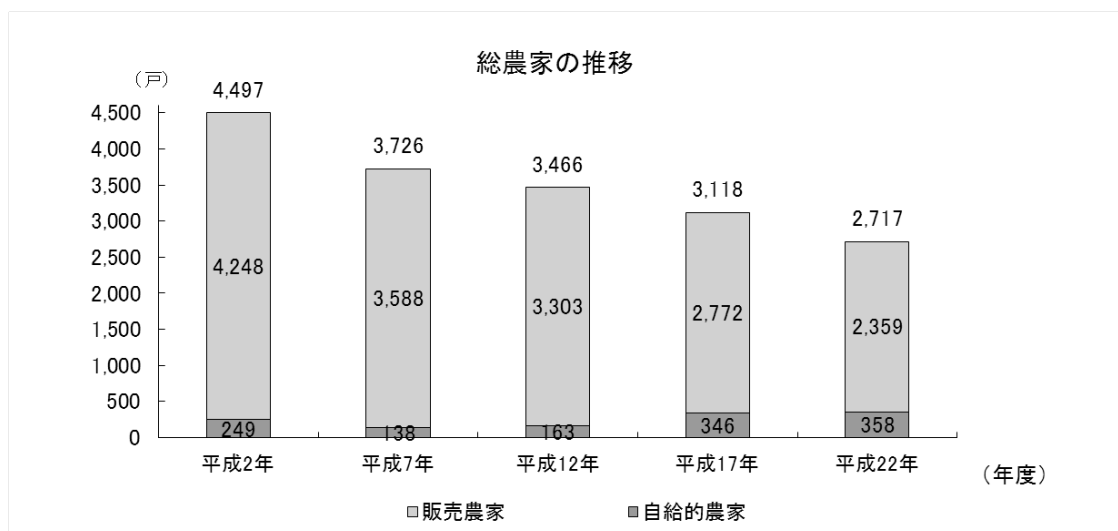
※国勢調査 (各年 10 月 1 日現在)

2) 農業

・総農家の推移（茨城県と稲敷市の比較）

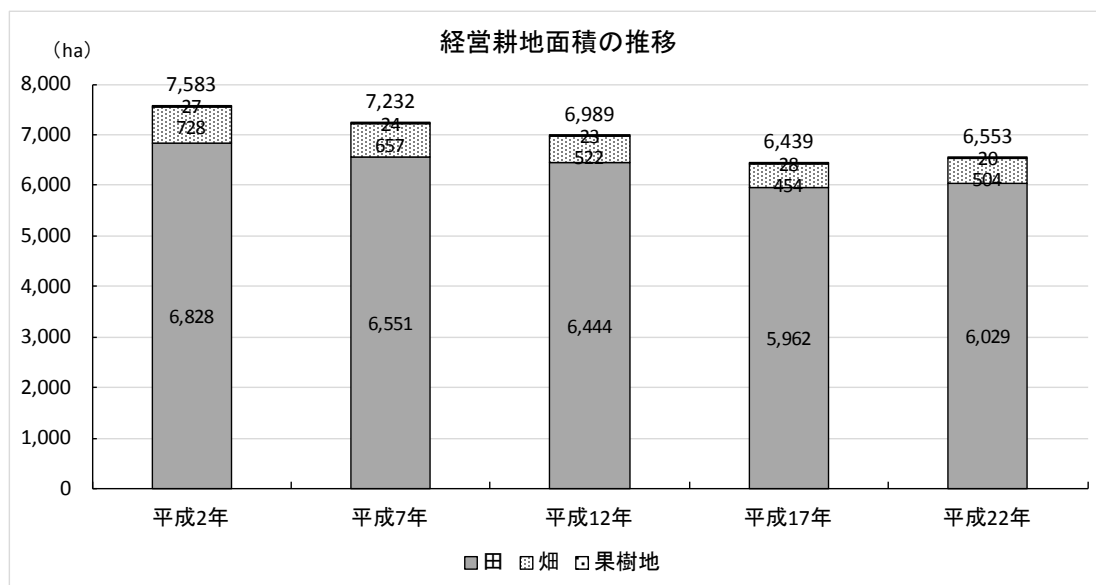
- 販売農家数は、平成2年からの20年間で1780戸（約5割）と大きく減少しています。一方、平成7年から自給的農家については増加の傾向をみせています。
- 農業就業者人口は平成2年からの20年間で約6,000人（約7割）と急速に減少しています。

※平成26年度統計いなしき(各年2月1日現在)



・ 経営耕地面積の推移

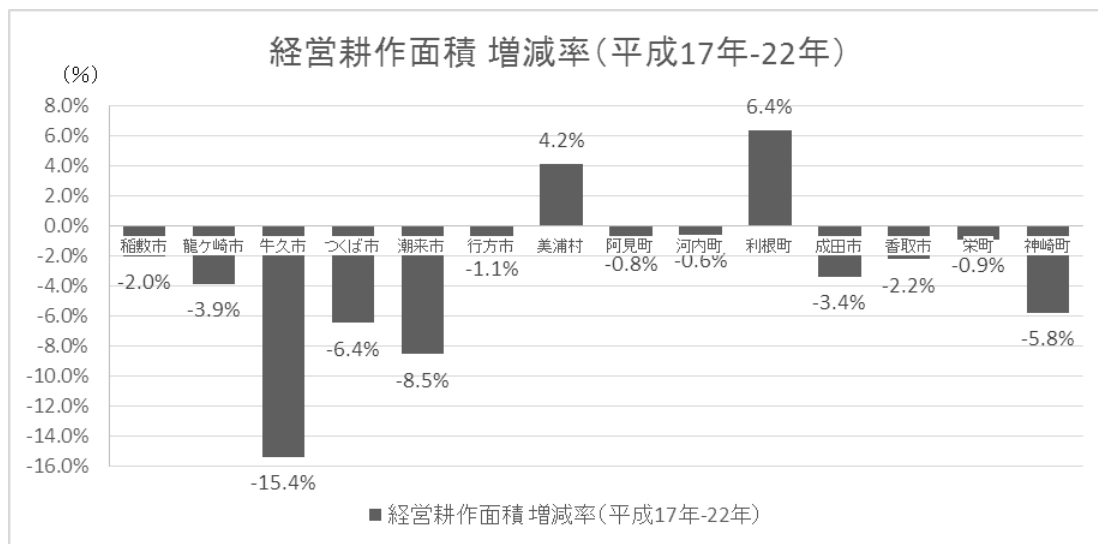
○経営耕地面積は、平成 22 年までの 10 年間で約 6%、20 年間で約 12%減少しており、減少傾向が長期的に続いています。



※平成 26 年度統計なし(各年 2 月 1 日現在)

・ 経営耕地面積の推移【都市間比較】

- 稲敷市の経営耕地面積は、平成17年からの5年間で2%減少となっています。
- 周辺市町村では、牛久（-15.4%）や潮来市（-8.5%）などが大きく減少し、利根町（6.4%）や美浦村（4.2%）が増加しています。



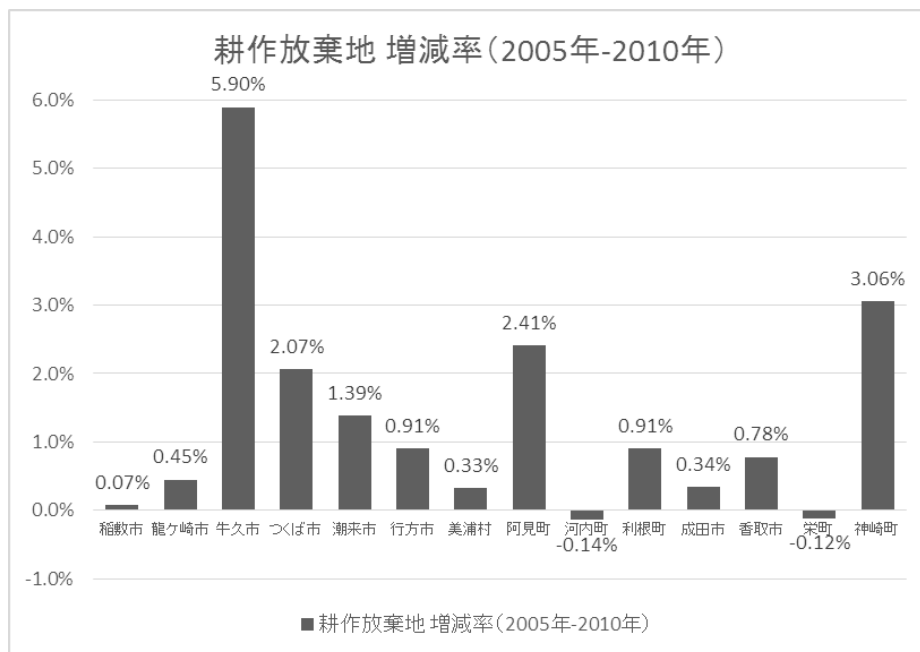
市区町村名	経営耕作面積			
	平成17年	平成22年	増減数(平成17年-22年)	増減率(平成17年-22年)
稲敷市	668,761	655,263	-13,498	-2.0%
龍ヶ崎市	217,550	209,124	-8,426	-3.9%
牛久市	91,100	77,095	-14,005	-15.4%
つくば市	704,518	659,080	-45,438	-6.4%
潮来市	176,976	161,873	-15,103	-8.5%
行方市	528,819	523,009	-5,810	-1.1%
美浦村	88,093	91,751	3,658	4.2%
阿見町	107,991	107,131	-860	-0.8%
河内町	239,596	238,277	-1,319	-0.6%
利根町	91,759	97,604	5,845	6.4%
成田市	512,689	495,468	-17,221	-3.4%
香取市	906,538	886,482	-20,056	-2.2%
栄町	122,561	121,443	-1,118	-0.9%
神崎町	72,825	68,602	-4,223	-5.8%

※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

・ 周辺市町村との耕作放棄地率の比較【都市間比較】

- 稲敷市の耕作放棄地率は、周辺市町村に比べ河内町の約1%、栄町の約3.5%、利根町約4.9%に次いで7.3%と低い割合となっています。
- 耕作放棄地率の増減では、周辺市町村に比べ河内町、栄町のマイナス0.1%、に次いでプラス0.1%とかなり低い割合となっています。



市区町村名	耕作放棄地		
	2005年	2010年	増減率(2005年-2010年)
稲敷市	7.19%	7.26%	0.07%
龍ヶ崎市	11.37%	11.82%	0.45%
牛久市	27.18%	33.08%	5.90%
つくば市	14.94%	17.01%	2.07%
潮来市	7.88%	9.27%	1.39%
行方市	12.83%	13.74%	0.91%
美浦村	15.72%	16.05%	0.33%
阿見町	27.95%	30.36%	2.41%
河内町	1.09%	0.95%	-0.14%
利根町	3.94%	4.85%	0.91%
成田市	8.57%	8.91%	0.34%
香取市	8.53%	9.31%	0.78%
栄町	3.60%	3.48%	-0.12%
神崎町	6.31%	9.37%	3.06%

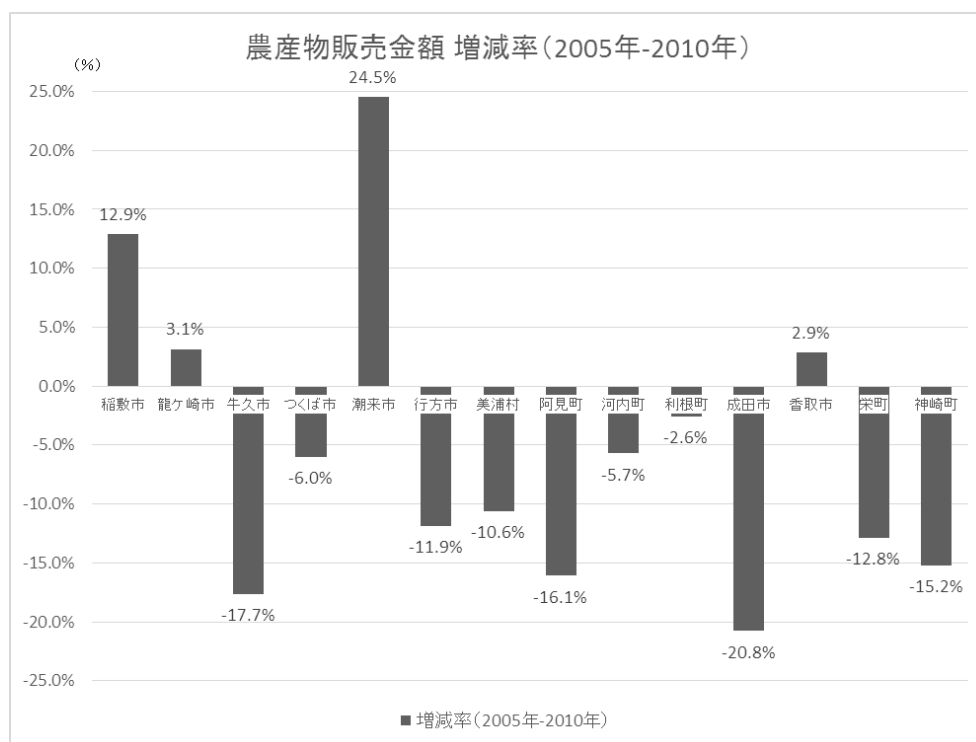
※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】耕作放棄地率＝耕作放棄地面積÷(経営耕地面積＋耕作放棄地面積)×100

・ 周辺市町村との農産物販売金額の比較【都市間比較】

○ 周辺市町村との農産物販売金額の増減率をみると、最も高い潮来市（24.5%増加）に次いで2番目に増加の割合が高くなっています。



市区町村名	農産物販売金額(万円)		
	2005年	2010年	増減率(2005年-2010年)
稲敷市	920,100	1,038,625	12.9%
龍ヶ崎市	286,575	295,600	3.1%
牛久市	225,325	185,550	-17.7%
つくば市	806,300	757,975	-6.0%
潮来市	210,100	261,675	24.5%
行方市	2,097,000	1,847,950	-11.9%
美浦村	121,100	108,275	-10.6%
阿見町	192,125	161,225	-16.1%
河内町	317,750	299,575	-5.7%
利根町	81,200	79,100	-2.6%
成田市	1,474,250	1,168,125	-20.8%
香取市	2,532,125	2,604,650	2.9%
栄町	145,750	127,025	-12.8%
神崎町	102,975	87,325	-15.2%

※地域経済分析システム (RESAS) 【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】農産物の販売金額は、下式による推計値。販売金額 = Σ (各階層中位数 × 各階層経営体数)

・ 周辺市町村との農地流動化率の比較【都市間比較】

○稲敷市の農地流動化率の増減の推移は、周辺市町村に比べ増加が少ない状況です。

市区町村名	農地流動化率		
	2005年	2010年	増減(2005年 -2010年)
稲敷市	26.29%	30.10%	3.81%
龍ヶ崎市	25.74%	35.33%	9.59%
牛久市	18.53%	19.55%	1.02%
つくば市	25.15%	34.18%	9.03%
潮来市	22.00%	29.34%	7.34%
行方市	28.57%	31.83%	3.26%
美浦村	25.23%	33.31%	8.08%
阿見町	25.50%	30.92%	5.42%
河内町	24.50%	32.21%	7.71%
利根町	20.11%	29.32%	9.21%
成田市	29.18%	36.79%	7.61%
香取市	21.73%	27.79%	6.06%
栄町	18.66%	25.50%	6.84%
神崎町	32.55%	38.49%	5.94%

※地域経済分析システム (RESAS)

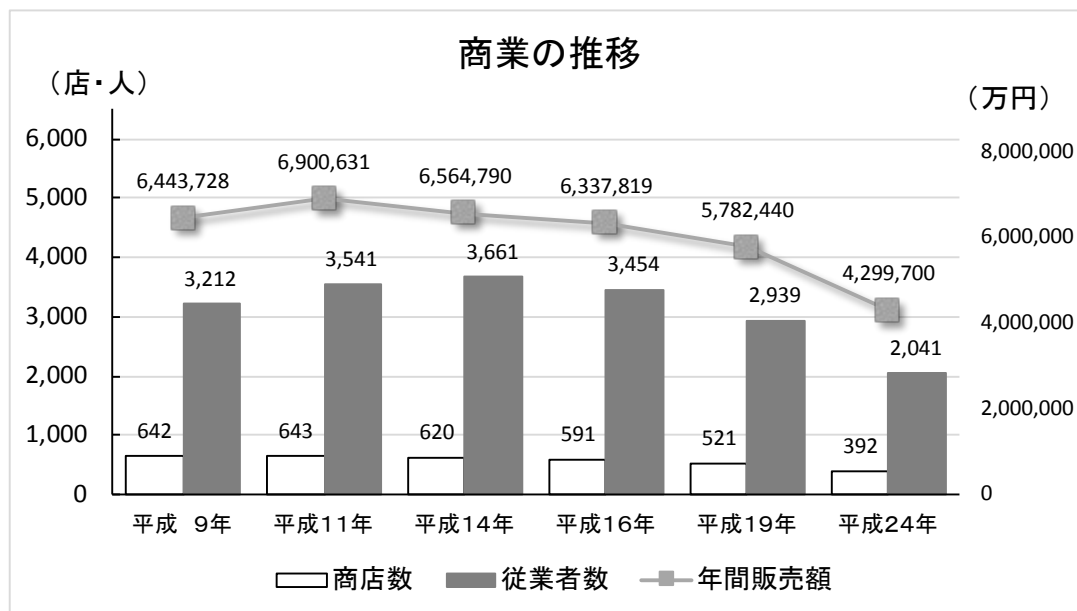
【出典】農林水産省「農林業センサス」再編加工

【注記】農地流動化率＝借入耕地面積÷経営耕地面積

3) 商業

・事業所数・年間商品販売額の推移

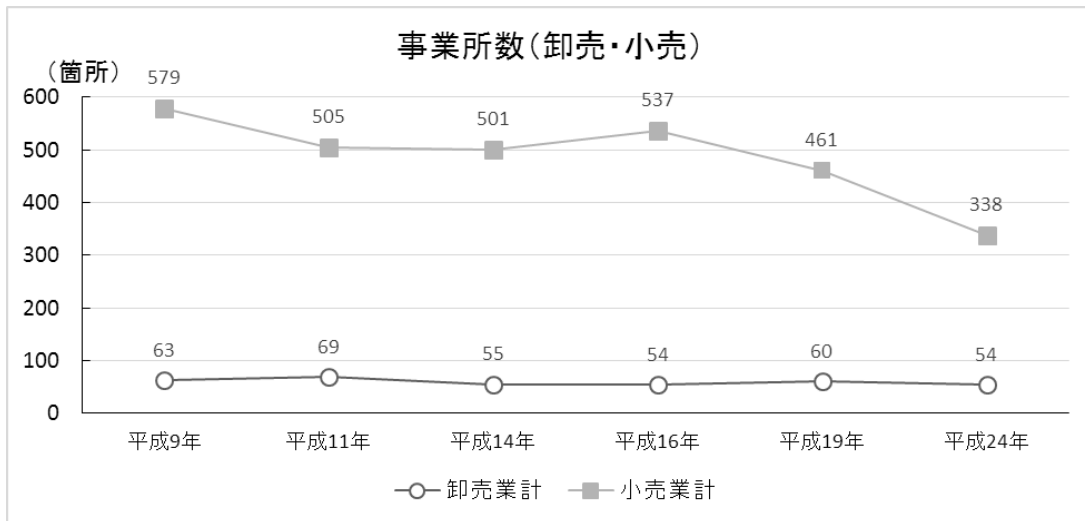
- 商店数は15年間（平成9年から24年）で約4割減少しています。
- 従業者数は平成14年に、年間販売額は平成11年にピークを迎え、それぞれ現在まで減少傾向が続いています。



※平成9年-平成19年度は「平成26年度統計いなしき[商業統計調査]」。平成24年度は経済センサス。
 ※平成9, 14, 16, 19年は6月1日現在。平成11年は7月1日現在 平成24年は2月1日現在

・事業所数（卸売・小売）

○卸売業はほぼ横ばいとなっていますが、小売業は減少傾向となっています。

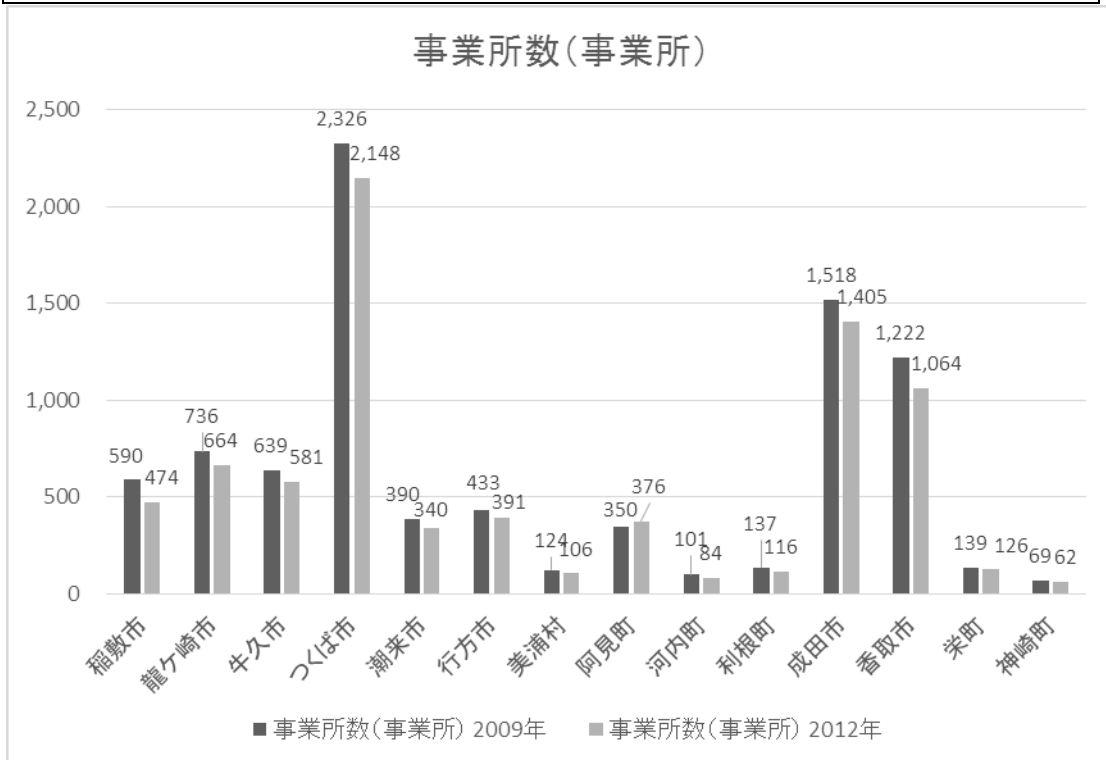


※平成9年-平成19年度は商業統計調査。平成24年度は経済センサス。

・周辺市町村との事業所数の比較（卸売・小売）【都市間比較】

○2009年から2012年の事業所数（卸売・小売）は、稲敷市が最も大きな減少をみせています。

○周辺市町村では、阿見町のみが増加している自治体となっています。



	事業所数(事業所)		増減率 (2009年- 2012年)
	2009年	2012年	
稲敷市	590	474	-19.7%
龍ヶ崎市	736	664	-9.8%
牛久市	639	581	-9.1%
つくば市	2,326	2,148	-7.7%
潮来市	390	340	-12.8%
行方市	433	391	-9.7%
美浦村	124	106	-14.5%
阿見町	350	376	7.4%
河内町	101	84	-16.8%
利根町	137	116	-15.3%
成田市	1,518	1,405	-7.4%
香取市	1,222	1,064	-12.9%
栄町	139	126	-9.4%
神崎町	69	62	-10.1%

※地域経済分析システム (RESAS)

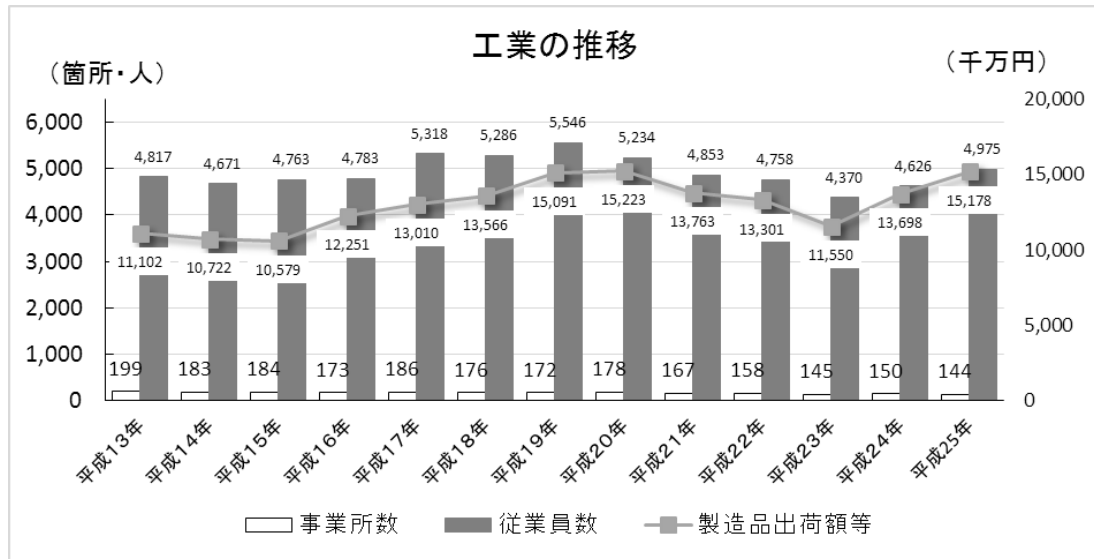
【出典】総務省「平成 21 年経済センサスー基礎調査」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサスー活動調査」

4) 工業

・工業の推移

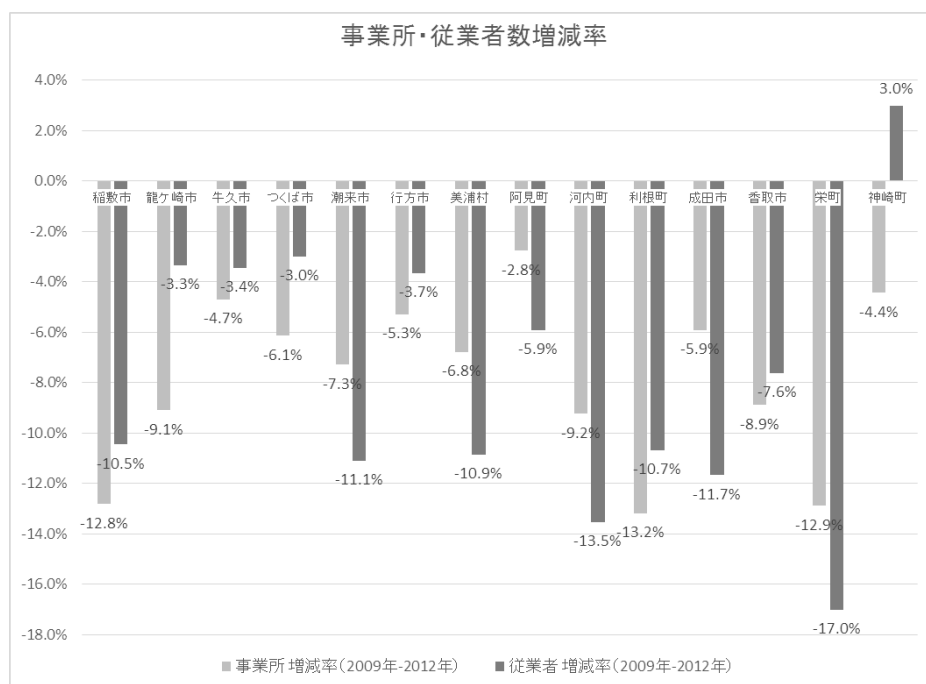
- 事業所数は、平成13年から減少傾向が続き、10年間で約1/4が減少しました。
- 従業員数は平成19年にはピークを迎え、その後5年間で大きく減少しましたが、江戸崎工業団地への企業誘致などにより、平成24年に再び増加に転じ約4,600人となりました。製造品出荷額等についても同様の傾向となっています。

※平成26年度統計いなし(各年12月31日現在)



・周辺市町村との事業所数の比較【都市間比較】

- 事業所数は稲敷市を含め周辺市町村全てで減少しています。稲敷市は利根町と栄町と並び最も減少率が高く（13%減）なっています。
- 従業者数は神崎町を除く全ての市町村で減少しており、稲敷市は、栄町や河内町などに次、6番目に減少率が高く（約10%減）なっています。



I. 現況及び都市数量分析

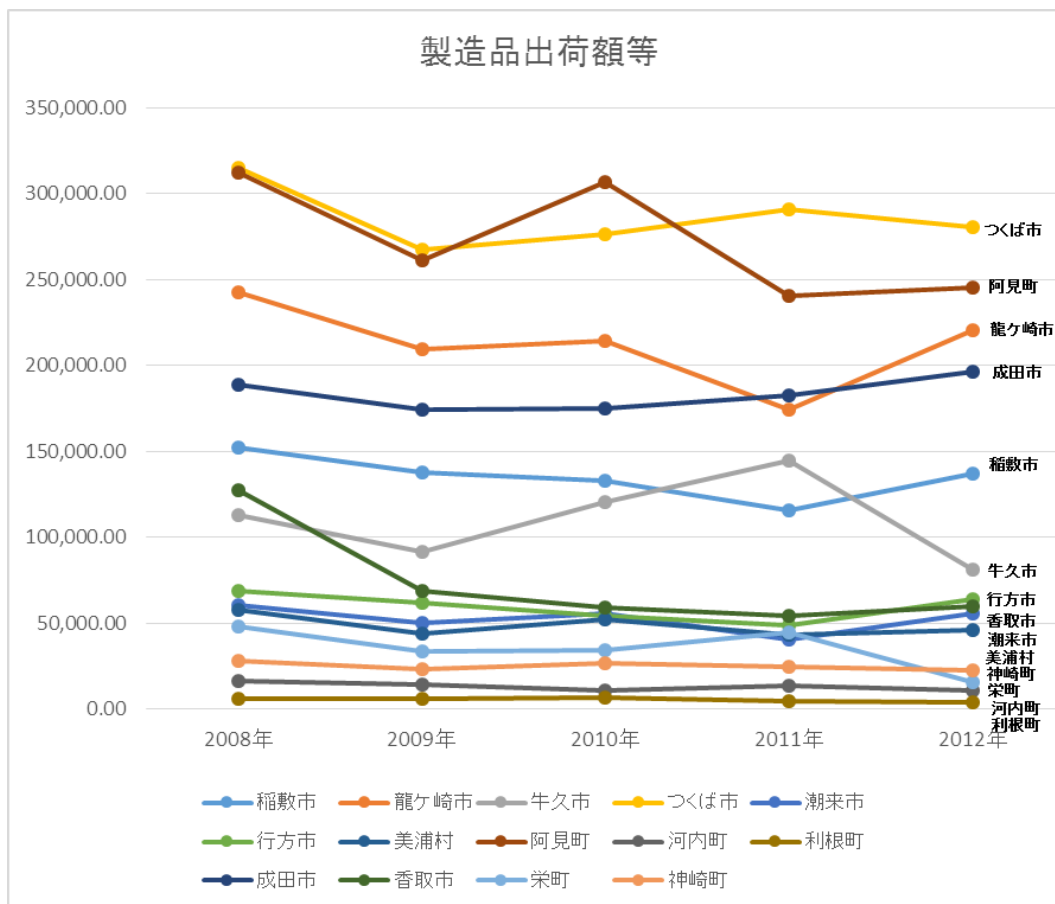
	事業所			従業者		
	2009年	2012年	増減率 (2009年- 2012年)	2009年	2012年	増減率 (2009年- 2012年)
稲敷市	2,013	1,755	-12.8%	16,884	15,118	-10.5%
龍ヶ崎市	2,768	2,516	-9.1%	27,421	26,505	-3.3%
牛久市	2,406	2,293	-4.7%	24,076	23,248	-3.4%
つくば市	8,302	7,792	-6.1%	116,214	112,741	-3.0%
潮来市	1,371	1,271	-7.3%	10,451	9,291	-11.1%
行方市	1,722	1,631	-5.3%	13,073	12,595	-3.7%
美浦村	693	646	-6.8%	7,815	6,967	-10.9%
阿見町	1,522	1,480	-2.8%	18,981	17,859	-5.9%
河内町	379	344	-9.2%	3,119	2,697	-13.5%
利根町	493	428	-13.2%	2,769	2,473	-10.7%
成田市	5,502	5,176	-5.9%	91,895	81,168	-11.7%
香取市	4,007	3,651	-8.9%	28,411	26,246	-7.6%
栄町	574	500	-12.9%	5,634	4,675	-17.0%
神崎町	248	237	-4.4%	1,875	1,931	3.0%

※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサスー活動調査」

・周辺市町村との製造品出荷額等の比較【都市間比較】

- 稲敷市の製造品出荷額等は、2008年からの5年間で10%の減少となっています。
- 製造品出荷額等は成田市を除く全ての市町村で減少傾向にあります。



	製造品出荷額等(百万円)					増減率(2008年-2012年)
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	
稲敷市	152,228.28	137,627.35	133,007.81	115,500.99	136,979.99	-10.0%
龍ヶ崎市	242,667.99	209,662.80	214,639.60	174,225.25	220,411.63	-9.2%
牛久市	112,971.05	91,451.95	120,414.30	144,719.20	81,475.55	-27.9%
つくば市	315,135.96	267,250.07	276,272.70	290,937.00	280,738.87	-10.9%
潮来市	60,413.33	50,281.12	55,534.24	40,821.08	55,511.09	-8.1%
行方市	68,655.26	61,756.60	54,297.26	48,716.93	64,247.33	-6.4%
美浦村	57,755.16	43,763.76	52,666.65	43,446.54	45,957.34	-20.4%
阿見町	312,302.77	260,992.92	306,640.88	240,741.39	245,561.91	-21.4%
河内町	16,487.93	14,300.17	10,810.98	13,635.79	10,769.68	-34.7%
利根町	6,227.72	6,372.77	6,983.39	4,447.48	4,115.83	-33.9%
成田市	189,186.14	174,132.44	174,762.19	182,418.85	196,445.84	3.8%
香取市	127,596.67	69,149.74	59,041.00	54,231.02	59,943.63	-53.0%
栄町	48,369.97	33,925.42	34,336.22	44,649.13	15,593.52	-67.8%
神崎町	28,184.50	23,532.67	27,126.91	24,730.51	22,782.45	-19.2%

※地域経済分析システム (RESAS)

【出典】 経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス活動調査」

・周辺市町村との労働生産性の比較（2012）【都市間比較】

○稲敷市の労働生産性は一人あたり 370 万円となっています。成田市が最も高く 489 万円で、行方市が 248 万円で最も低い額となっています。

市区町村名	労働生産性(千円/人)
稲敷市	3,700
龍ヶ崎市	2,624
牛久市	3,697
つくば市	3,885
潮来市	3,059
行方市	2,484
美浦村	4,420
阿見町	4,165
河内町	2,844
利根町	2,643
成田市	4,890
香取市	3,090
栄町	3,872
神崎町	4,192

※地域経済分析システム（RESAS）

【出典】総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサスー活動調査」再編加工

【注記】付加価値額÷従業者数で算出。

5) 観光

・観光入れ込み客数【都市間比較】

- 平成 25 年の稲敷市の観光入れ込み客数は約 30 万人となっています。8 月の花火大会では約 13 万人の入れ込み客数となっています。
- 周辺市町村のイベントでは、佐原の大祭（夏・秋祭り）（82 万人）、水郷潮来あやめまつり（72.6 万人）、成田祇園祭（45 万人）うしくかっぱ祭り（23 万人）、潮来祇園祭禮（12 万人）などがあります。

(平成 25 年)

市区町村名	総数 (1 月から 12 月の合計)	備考(主要なイベント)
龍ヶ崎市	318,500	
牛久市	1,025,200	うしくかっぱ祭り (23 万人)
つくば市	3,316,100	まつりつくば (45 万人) 筑波山梅まつり (15 万人)
潮来市	2,556,800	水郷潮来あやめまつり (72.6 万人) 潮来祇園祭禮 (12 万人)
稲敷市	301,500	いなしき夏まつり花火大会 (13 万人)
行方市	48,400	
美浦村	—	
阿見町	3,359,300	
河内町	—	
利根町	—	
成田市	13,543,262	成田山新勝 (1,036 万人) 宗吾霊堂 (105 万人) 成田祇園祭 (45 万人) 成田山紅葉まつり (30 万人) 成田太鼓祭 (22 万人)
香取市	6,978,552	香取神宮 (196 万人) 道の駅水の郷さわら (113 万人) 道の駅くりもと「紅小町の郷」(87 万人) 佐原の大祭(夏祭り・秋祭り) (82 万人) 小野川沿い (48 万人)
栄町	517,055	千葉県立房総のむら (28 万人) ドラムの里 (10 万人) 房総のむら端午の節供 (3 万人) リバーサイドフェスティバル(夏まつり) (3 万人) 房総のむら秋のまつり/ふるさとまつり (2 万人)
神崎町	63,793	発酵の里こうざき酒蔵まつり (5 万人) 神崎カントリー倶楽部 (2 万人)

※「茨城の観光レクリエーション現況（平成 25 年観光客動態調査報告）」茨城県商工労働部観光物産課
「平成 25 年千葉県観光入込調査報告書」千葉県商工労働部観光企画課

※茨城県はゴルフ場利用者数を除く。千葉県はゴルフ場利用者数を含む

※備考欄の茨城県内市町村のイベントは、入込客数が 10 万人以上のみを掲載。

※備考欄の千葉県内市町村のイベントは、各市町村上位 5 地点^{注 1)}（観光入込客数（延べ人数）1 万人以上）を掲載。

注 1) 上位 5 地点は、観光入込調査の「観光地点」及び「行祭事・イベント」における上位 5 地点を示す。

「観光地点」については、次の（ア）～（ウ）に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については、（イ）及び（ウ）の要件を満たすものを集計の対象とする。

（ア）非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。

（イ）観光入込客数が適切に把握できる地点であること。

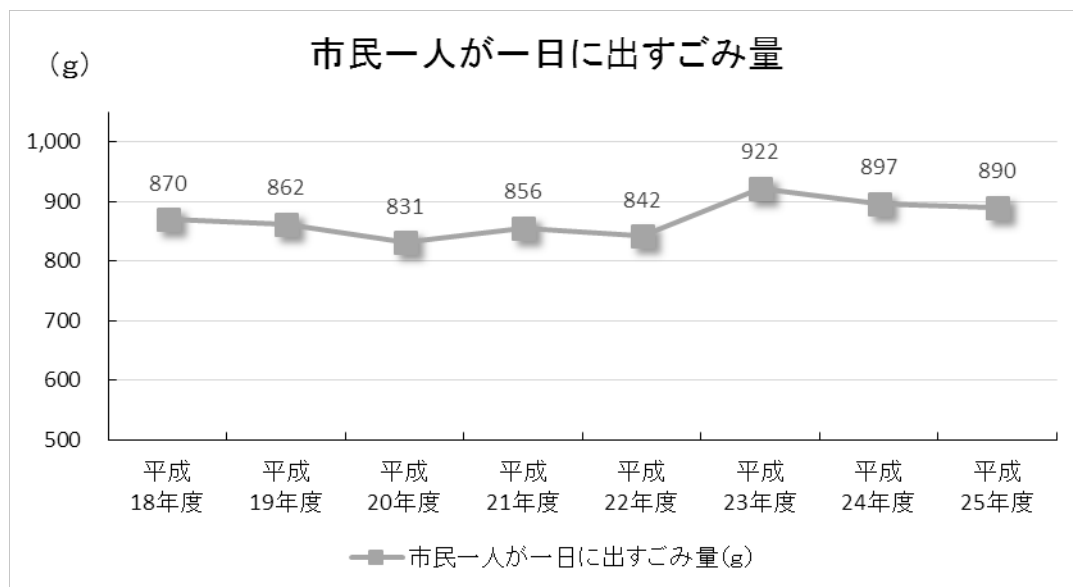
（ウ）前年の観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。（なお、本年の途中で観光入込客数が本要件を満たすこととなった観光地点等は集計の対象とする。）

4. 衛生

1) ごみ処理

・市民一人が一日に出すごみ量

○平成 18 年からゆるやかに増加の傾向となっています。



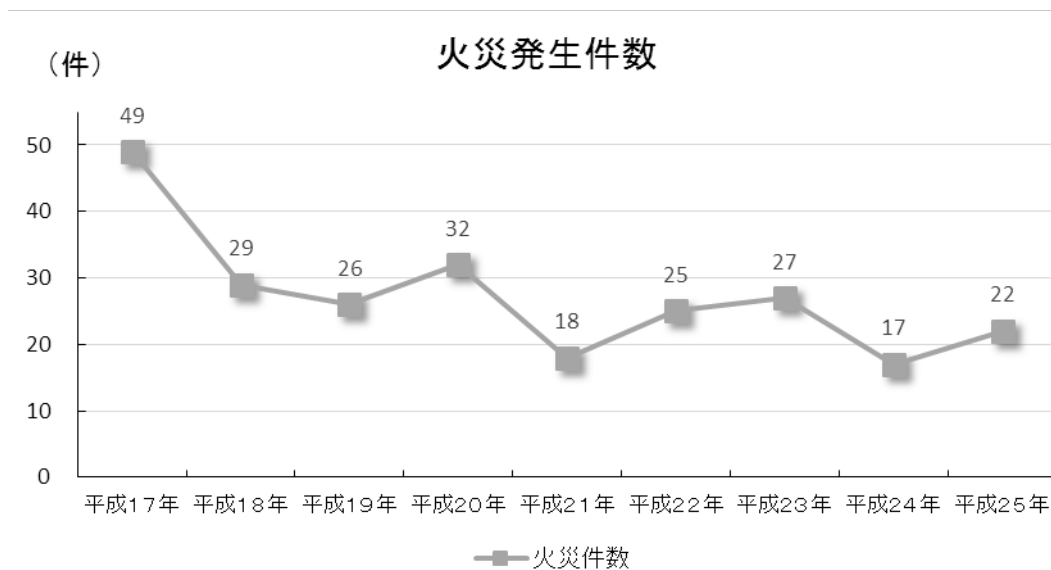
※平成 26 年度統計なし

5. 安全

1) 防災

・火災発生件数

○平成 17 年から増減を繰り返しながらも減少傾向となっています。

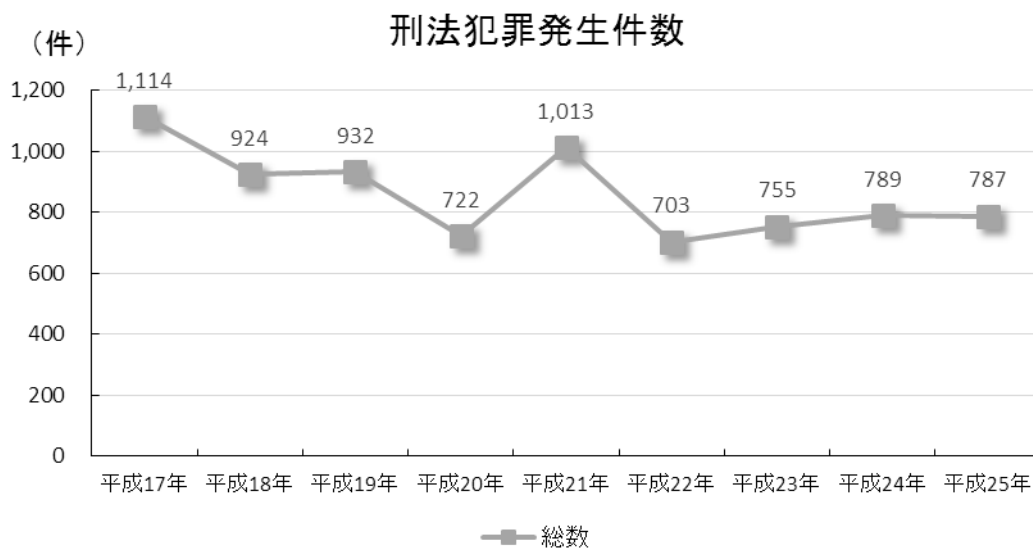


※平成 26 年度統計なし

2) 防犯

・ 刑法犯罪認知件数

平成 17 年から全体的に減少傾向となっていますが、平成 22 年から微増の傾向が続いています。

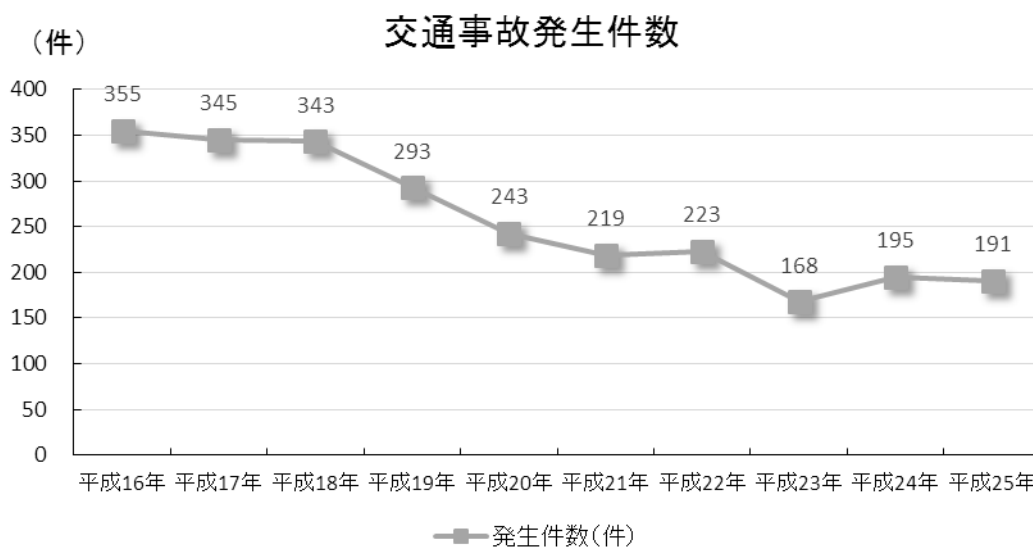


※平成 26 年度統計なし

3) 交通安全

・ 交通事故発生件数

○平成 16 年から減少し続け、約 10 年間で半減しています。



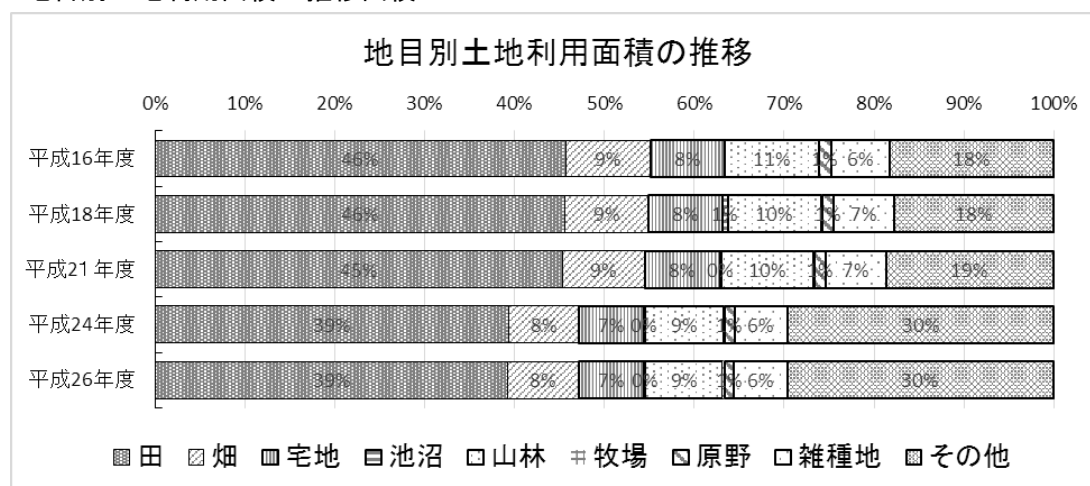
※平成 26 年度統計なし

6. 建築・土地・上下水道

1) 都市

- 地目別土地利用面積の推移をみると、平成21年から24年にかけて田が6%減少し、その他が11%増加しました。
- 都市計画区域については、稲敷東部台都市計画区域（線引き）が8,260ha（市街化区域355haと市街化調整区域7,905ha）、稲敷東南部都市計画区域（非線引き）が9,556haとなっています。

・地目別土地利用面積の推移面積



※平成26年度統計なしき。(各年1月1日現在)

※平成26年度統計なしき

・総面積、市街化区域面積

	総面積(ha)	都市計画区域(ha)		市街化区域(ha)	市街化調整区域(ha)
		稲敷東部台地区	稲敷東南部地区		
平成26年	17,816	稲敷東部台地区	8,260	355	7,905
		稲敷東南部地区	9,556	-	-

※平成26年度統計なしき(平成26年4月1日現在)

・都市計画道路の整備率

路線番号	路線名	幅員 (m)	計画決定 延長 (m)	改良済		概成済		改良済+概成済	
				延長 (m)	整備率 (%)	延長 (m)	整備率 (%)	延長 (m)	整備率 (%)
1・3・2	首都圏中央連絡自動車道線	23.5	12,070	6,340	53	-	-	6,340	52
3・3・1	美浦・江戸崎線	25	3,830	200	5	-	-	200	5
3・3・1	桜川・東線	23	6,570	300	5	-	-	300	5
3・3・2	佐倉・羽賀線	18	7,300	5,430	74	-	-	5,430	74
3・4・3	柴崎・桑山線	18	6,000	3,580	60	-	-	3,580	60
3・4・4	桑山・椎塚線	16	1,400	360	26	-	-	360	26
3・4・10	土屋・新山線	16	1,600	-	-	-	-	-	-
3・4・11	道上沖・荒匂線	16	2,240	-	-	-	-	-	-
3・4・12	青宿・原線	16	700	-	-	-	-	-	-
3・4・13	伊佐津・寺地線	16	520	-	-	-	-	-	-
3・4・14	柴崎中央線	16	1,340	-	-	-	-	-	-
3・4・15	九軒・新宿線	16	1,090	-	-	-	-	-	-

※平成26年度統計いなしき（平成26年4月1日現在）

・市民一人当たりの都市公園面積

	面積 (m ²)	人口 (人)	市民一人当たりの都市 公園面積 (m ²)
都市公園 合計面積	223,961	43,827	5.11
リバーサイド公園	16,822	—	—
江戸崎運動公園	83,388	—	—
沼田運動公園	15,516	—	—
新利根総合運動公園	108,235	—	—
その他の公園 合計面積	447,035	43,827	10.19
愛宕山公園	12,440	—	—
堂前自然公園	36,000	—	—
和田公園	85,100	—	—
古渡水の里公園	23,000	—	—
阿波水辺公園	7,380	—	—
三次親水公園	5,605	—	—
やすらぎの森公園	30,000	—	—
つくば東部工業団地公園	4,679	—	—
つくば東部工業団地公園	6,939	—	—
大利根東公園	13,268	—	—
光葉団地公園	18,482	—	—
新利根川桜つつみ	34,200	—	—
横利根閘門ふれあい公園	30,614	—	—
桜川総合運動公園	139,328	—	—

※面積は平成26年度統計いなしき 平成26年4月1日現在 資料：都市計画課

※人口は茨城県常住人口調査 10月1日現在

○居住世帯なしの空家は平成 20 年から 40 件増加しています。

・居住世帯の有無別住宅数及び建物数

(単位:戸)

年	区分	住 宅		住宅以外で人が居住する 建物数	
		総 数	居住世帯あり		居住世帯なし(空家)
平成 20 年		17,050	14,460	2,600	40
平成 25 年		17,260	14,620	2,640	10

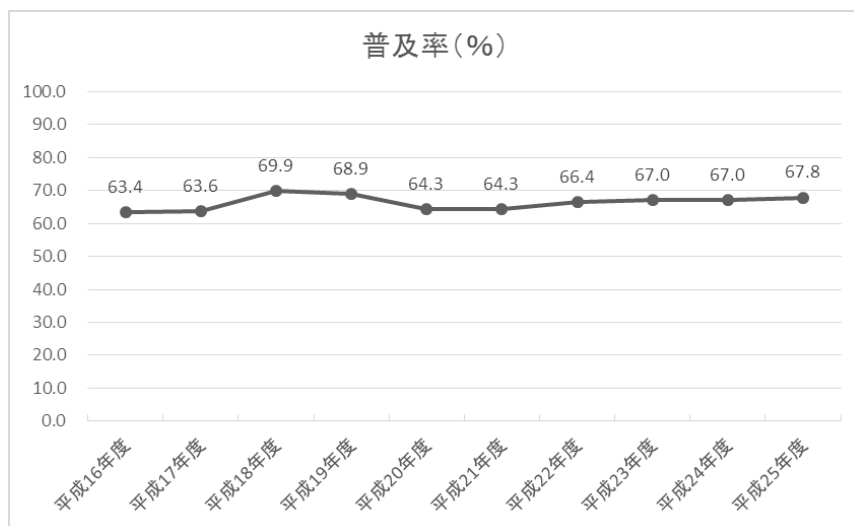
※ 標本調査による推定戸数のため、総数と内訳は一致しない。

各年3月31日現在

資料:住宅・土地統計調査

○上水道普及率はほぼ横ばいが続いています。

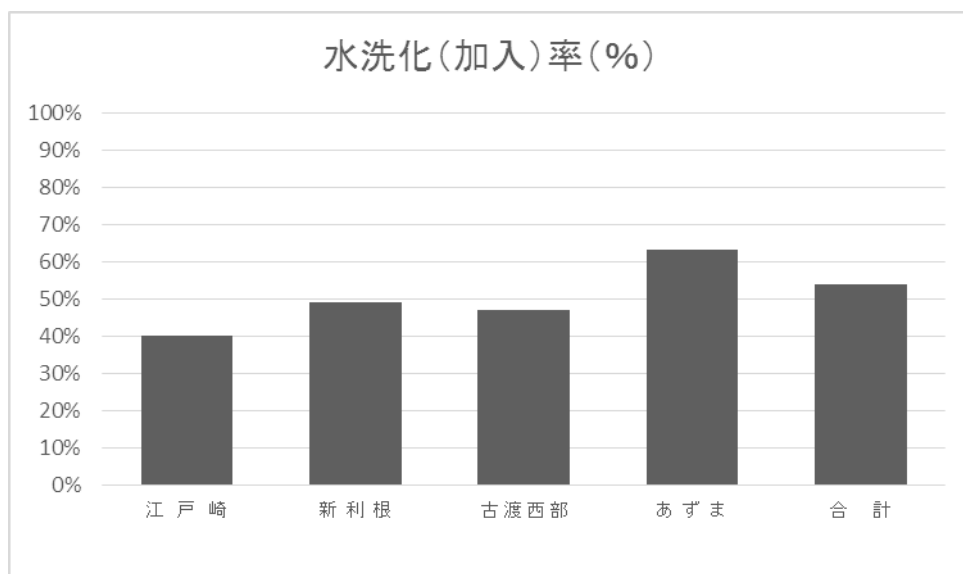
・上水道普及率



各年 3 月 3 1 日現在

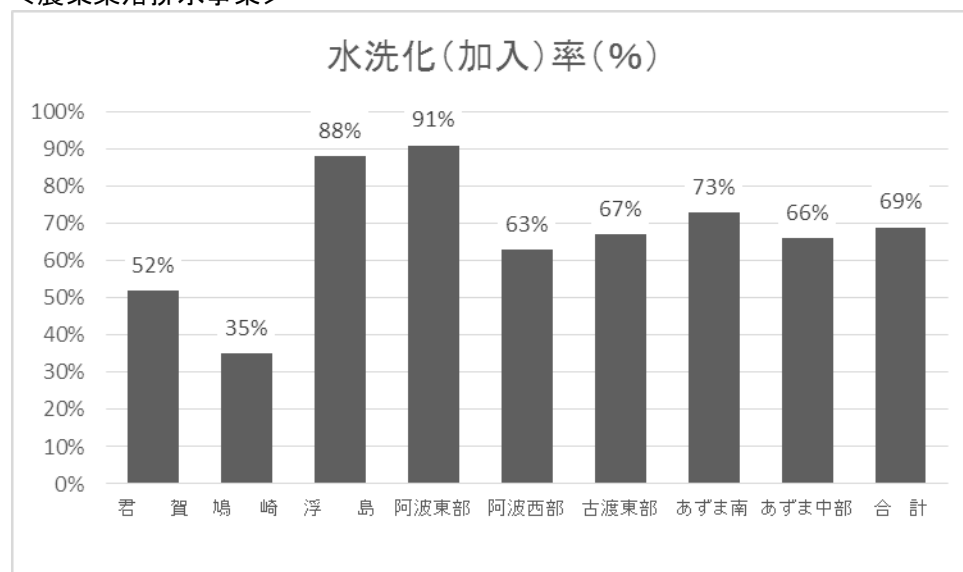
・下水道普及状況

<公共下水道事業>



平成26年3月31日 現在

<農業集落排水事業>



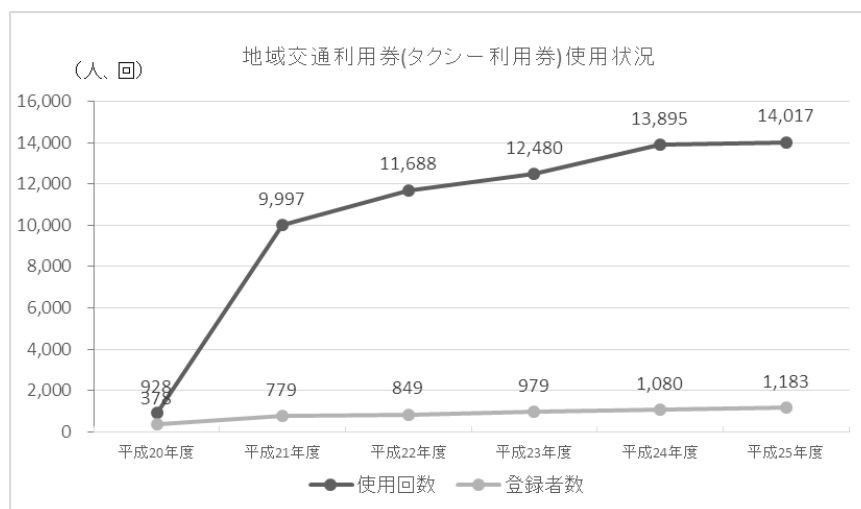
- 公共交通利用者は、平成 23、24 年度に増加しましたが、平成 24 年度に大きく減少に転じています。
- 地域交通利用券は、平成 20 年度以降利用回数が増加しています。

・公共交通利用状況



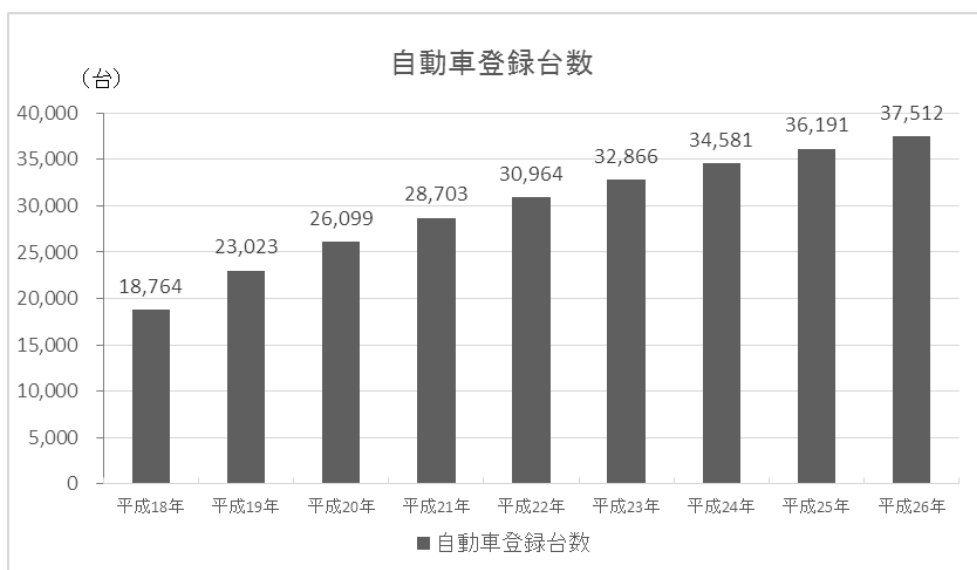
※平成 26 年度統計なし

・地域交通利用券(タクシー利用券)使用状況



※平成 26 年度統計なし

・ 自動車保有台数



※平成26年度統計いなしき

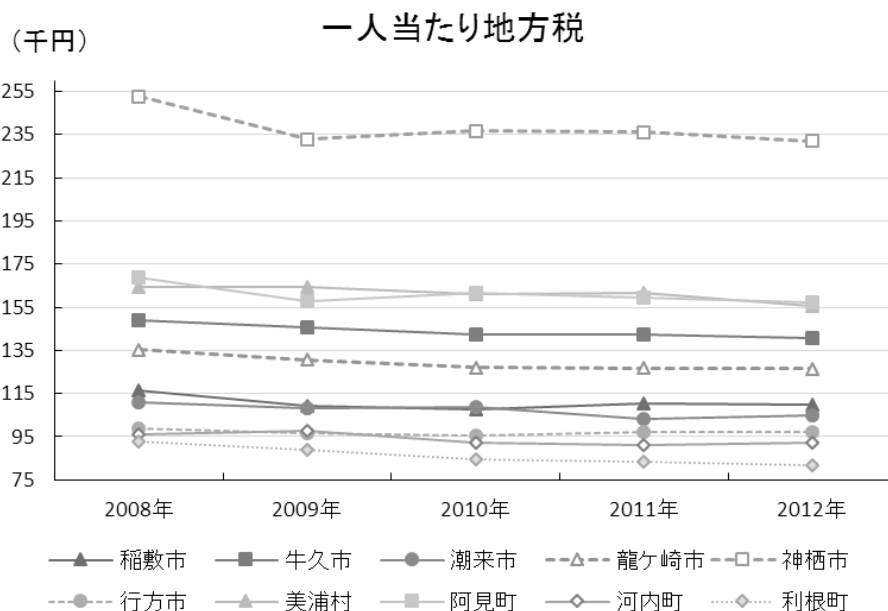
※軽自動車は、軽二輪、三輪、軽四輪、貨物、を含み、軽自動車以外は、貨物、乗合、乗用、特種（殊）、小型二輪を含む。

7. 財政

・一人当たり地方税

○一人当たりの地方税の推移をみると、稲敷市は2008年の約13.5万円から緩やかに減少しています。

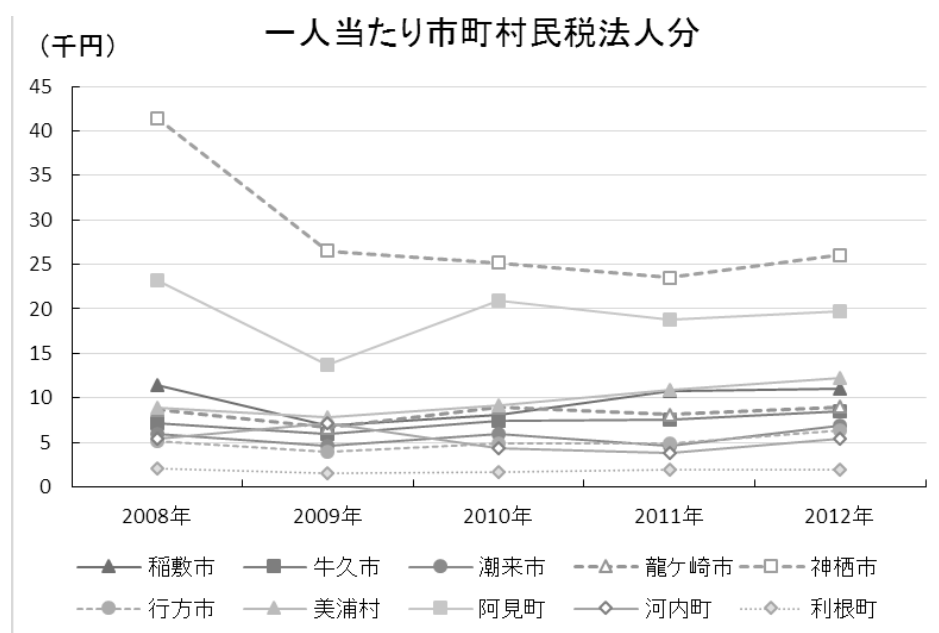
○周辺市町村では、神栖市が高く、河内町や利根町が低くなっています。



出典：総務省「地方財政状況調査」

・一人当たり市町村民税法人分【都市間比較】

○一人当たりの市町村民税法人分の推移をみると、稲敷市は2008年の約1.1万円から減少し、2009年の0.6万円から増加に転じ、2012年では約1.1万となっています。

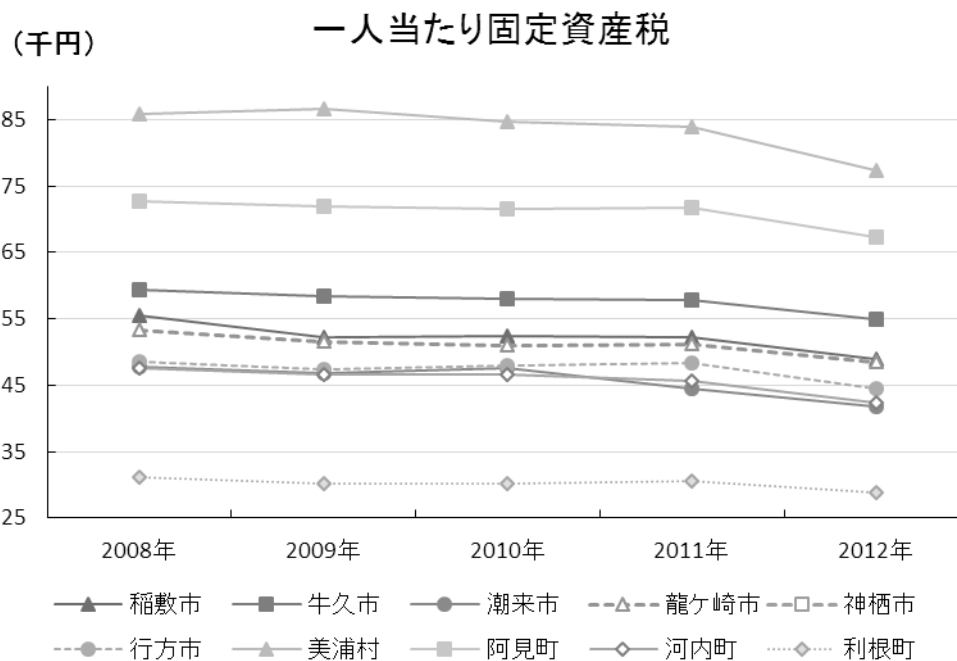


出典：総務省「地方財政状況調査」

・一人当たり固定資産税

○一人当たり固定資産税の推移をみると、2008年の約5.5万円から減少傾向となっています。

○周辺市町村では、美浦村や阿見町が高く、利根町が低い状況となっています。



出典：総務省「地方財政状況調査」